

栃木県立美術館[年報]

令和4年度 ————— 2022年度

No.50

目 次

美術館概要		2
企画展		
(1) 題名のない展覧会		4
(2) 山中信夫☆回顧展		22
(3) 印象派との出会い		33
(4) 小口一郎展		38
常設展示		
(1) コレクション展Ⅰ	題名のない展覧会（第5章）	 52
(2) コレクション展Ⅱ	特集 小堀鞆音	 53
(3) コレクション展Ⅲ	みんなの《推し》コレクション！	 61
(4) コレクション展Ⅳ	時のながれ	 68
アートリンクとちぎ2022(館外展)		75
諸 表		
1. 展覧会事業		77
2. 普及教育事業		79
3. 所蔵作品集計表		83
4. 美術館利用者数表		83
新収蔵美術資料		84
美術資料貸出状況		94
学芸員研究業績等		99
名 簿		102

■ 概 要

沿 革

昭和43年－1968

- 12月 ― 第121回栃木県議会定例会において美術館建設について要望あり。

昭和44年－1969

- 3月 ― 美術館建設について基本構想樹立
基本構想に基づき、建設準備調査に入る。

- 7月 ― 栃木県立美術館建設委員会を結成、調査を開始、宇都宮市桜4丁目に敷地決定

- 9月 ― 設計者を川崎清氏に決定

昭和45年－1970

- 3月 ― 全国主要美術館実態調査

- 6月 ― 設計構想

昭和46年－1971

- 2月 ― 清水建設と工事請負契約

- 5月 ― 建設委員会を発展的に解散し美術館運営準備委員会を結成

- 7月 ― 起工式
開館記念展事業の決定

- 8月 ― 本体基礎工事着手

昭和47年－1972

- 5月 ― 文部省において社会教育施設補助金として3,000万円を交付決定

- 7月 ― 栃木県立美術館条例制定公布
栃木県美術館職員発令
本体工事完了、外構工事着手

- 11月2日 ― 竣工式・開館式および開館記念特別企画「栃木県の美術」展特別観覧

- 11月3日 ― 一般公開

昭和56年－1981

- 10月24日 ― 常設展示館開館

昭和57年－1982

- 3月26日 ― 収蔵庫増築完了

平成4年－1992

- 11月1日 ― 開館20周年記念「太陽と風と雨」展開催

平成7年－1995

- 11月6日 ― 改修工事のため休館
～平成8(1996)年10月11日まで

平成9年－1997

- 4月 ― 「バーナード・リーチ展」をはじめ当年度の企画展を、開館25周年記念展として開催

平成10年－1998

- 4月 ― 知事部局(生活環境部文化振興課)と教育委員会事務局(生涯学習課)の共同管理となる。

平成19年－2007

- 3月14日 ― 耐震改修工事のため休館
～平成20(2008)年3月31日まで

平成29年－2017

- 1月 ― エレベーター改修工事のため休館

基本的性格

社会教育施設である。同時に学校教育に利用されることを目的とする。

利用者の学習に役立つ調査・研究、収集・保存、教育・普及活動を行う。また自由な精神が解放されるよう、美的な環境を整備する。

運営方針

①栃木県関係の美術資料、美術作家に関する研究調査、資料の収集保存、展示普及活動を運営の基本とする。

②国内外の美術史および美術状況に幅広く対応する。

③県民が利用しやすい美術館とするため、地域の美術文化の向上、ならびに地域住民の美術に関する生涯学習等に役立つ事業を行う。

④学校教育との連携を重視する。

⑤常に美観を保ち、利用者の心が解放される憩いの場となるよう配慮する。

⑥栃木県立美術館友の会、関係諸機関との連絡協調を密にする。

建 築

本館設計：

川崎清＋財団法人建築研究会

協力デザイナー：

家具／柳宗理

照明／石井幹子

テキスタイル／太田麗子

造園／吉村元男・矢野興

施 工：

建築／清水建設株式会社

電気設備／日本電設工業株式会社

空調衛生／日本熱学工業株式会社

家具／株式会社天童木工

新館設計

川崎清＋環境・建築研究所

構造／空間設計1級建築士事務所

設備／建築設備設計研究所

施 工：

建築／清水建設株式会社

機械設備／須賀工業株式会社

電気設備／日本電設工業株式会社

敷地面積(㎡) 12,626.83

site area

各階床面積(㎡)

	本 館 main bldg.	新 館 new wing	保管庫棟 storage bldg.	計 total
地 階 besement	1,017.45	—	—	1,017.45
1 階 1st floor	2,014.70	985.69	408.69	3,409.08
2 階 2nd floor	148.58	725.61	200.78	1,074.97
3 階 3rd floor	107.36	—	—	107.36
4 階 4th floor	258.02	—	—	258.02
5 階 5th floor	286.82	—	—	286.82
塔 屋 penthouse	41.12	—	—	41.12
計 total	3,874.05	1,711.30	609.47	6,194.82

建築面積(㎡)

construction area

本 館 main bldg.	新 館 new wing	保管庫棟 storage bldg.	計 total
2,628.23	1,041.54	416.20	4,085.97

建築系統別床面積(㎡)

area on system

	本 館 main bldg.	新 館 new wing	保管庫棟 storage bldg.	計 total
展示系 galley	1,297.58 (企画展示室)	1,292.03 (常設展示室)	—	2,589.61 (41.8%)
保管系 storage	314.24	—	600.15	914.39 (14.8%)
研究系 study	494.46	57.38	—	551.84 (8.9%)
事務管理系 office	338.90	24.60	—	363.50 (5.9%)
機械系 machine	552.68	124.32	9.32	686.32 (11.1%)
その他供用部 others	876.19	212.97	—	1,089.16 (17.6%)
計 total	3,874.05	1,711.30	609.47	6,194.82

利用案内

観覧時間：午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

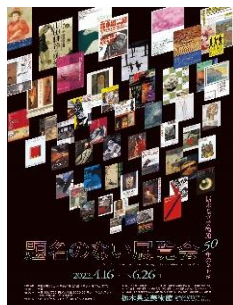
休 館 日：月曜日(月曜日が祝日、振替休日、6月15日にあたる場合は開館して火曜日休館)、12月28日から1月4日まで

無 料 日：6月15日(県民の日)、11月3日(文化の日)、6月の第2土曜日およびその翌日(県民の日関連無料日)

美術館まで JR宇都宮駅、東武宇都宮駅から関東バスの道順：ス作新学院・駒生行にて桜通十文字下車

友 の 会：講習会などの行事の開催及び会報の発行など。年会費の納入により随時入会できる。会員の観覧料(年4回まで)を友の会が負担する等の特典あり。

■企画展



ポスター



ブックレット

題名のない展覧会

—栃木県立美術館 50年のキセキ

50th Anniversary Collection of Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts

会期	=	令和4(2022)年4月16日(土)～6月26日(日)
主催	=	栃木県立美術館
後援	=	朝日新聞宇都宮総局、NHK宇都宮放送局、エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、とちぎテレビ、栃木放送、日本経済新聞社宇都宮支局、毎日新聞社宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

昭和47(1972)年に開館した栃木県立美術館は、令和4(2022)年、開館50周年を迎えた。その間に収集した作品は9,000点を超え、開催した企画展は240本にのぼる。本展は特定のジャンルや時代、作家に注目したものではなく、当館50年のキセキを過去の企画展や選りすぐりの収蔵品を通してたどる「題名のない展覧会」。以下の5つのセクションにより、企画展示室、常設展示室の全館を使って展示した。

プロローグ —「白亜と鏡の美の殿堂」美術館誕生！

- I. コレクション「ゼロ」からの出発
- II. 調査研究から展覧会へ
- III. 題名の“たくさんある”展覧会
- IV. 印刷物でたどる美術館のあゆみ
- V. 魅せます！県美のコレクション (常設展示室)
- エピローグ — つながる美術館 (オープンスペース)

作品収集にとどまらない、調査研究や展示、教育普及など、幅広くもそれぞれが関連した多面的な美術館活動にも目を向け、これからの50年を見据えた美術館を考えるための機会とした。あわせて掲示した「企画展ポスター年譜」は観覧者やメディア、関係者に大変好評で、歴史を振り返るだけでなく、未来の美術館にバトンを繋ぐ媒体となった。

また、会期中に「もう一度見たい！県美コレクション総選挙」を実施。県美のコレクションよりお気に入りの作品を最大3点まで投票するもの(QRコードからオンライン投票も可)。子どもから大人まで、投票者数585名、1,235票が集まり、添えられた「県美での思い出・メッセージ」は会場に掲示した。その投票結果を、秋のコレクション展Ⅲ「みんなの《推し》コレクション！」に反映した。

観覧者数	7,514人
開催日数	62日(1日平均 121人)
図録販売	250冊
展示点数	作品270件(その他資料、スケッチブック等10件)(展示替え有り)
担当者	鈴木さとみ(主任研究員)、志田康宏(主任)、大城茉里恵(研究員)、武関彩瑛(研究員)

作成印刷物

1) 広報宣伝物

ポスター(B2)、チラシ(A4)

2) ブックレット 『題名のない展覧会 —栃木県立美術館 50年のキセキ』

体裁: 25.6×17.6cm、32頁、作品・資料図版 約100点

内容: 図版、作家略歴、作品解説

編集: 鈴木さとみ(主任研究員)、志田康宏(主任)、大城茉里恵(研究員)、武関彩瑛(研究員)

印刷・製本: 株式会社井上総合印刷

発行: 栃木県立美術館 ©2022

関 連 企 画

1) ギャラリー・トーク(学芸員による解説)

日 時: 4 月 16 日(土) 午後3時30分～4時30分

5 月 15 日(日)、6月5 日(日) 各回とも午後2時～3時

2) 「もう一度見たい！県美コレクション総選挙」

投票用紙にお気に入りの作品を最大3点まで記入し、投票箱に投函。QRコードからオンライン投票も可。その投票結果を秋のコレクション展Ⅲ「みんなの《推し》コレクション！」に反映。

投票期間：4月16日(日)～9月4日(日)

投票者数：585名

作品投票数：1,235票

出品リスト

- ・出品作品には章ごとに番号を付した。資料には番号の冒頭に「資」を付したが、出版物および印刷物には番号を付していない。
- ・寸法表記 cm (高さ×最大径、高さ×幅×奥行、縦×横)
- ・寄託作品以外は全て栃木県立美術館蔵。
- ・No. 2-33は前期展示 (4月16日(土)－5月22日(日))、No. 2-34は後期展示 (5月24日(火)－6月26日(日))、No. 2-1は5月24日(火)より場面を変えて展示。

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----

【プロローグ — 「白亜と鏡の美の殿堂」美術館誕生！】

財団法人建築研究協会 一級建築士事務所	栃木県立美術館建築図面 (平面図・断面図 縮尺1/300)	1972年頃
------------------------	-------------------------------	--------

設計：財団法人建築研究協会 施工：清水建設株式会社	栃木県立美術館 模型(縮尺1/150)	1972年頃
------------------------------	---------------------	--------

撮影：村井 修 構成：飯田善国	栃木県立美術館 開館記念ポスター	1972年
--------------------	------------------	-------

開館記念展「栃木県の美術」ポスター	1972年
-------------------	-------

栃木県立美術館 開館記念展『栃木県の美術』	1972年
-----------------------	-------

『栃木県立美術館概要』	1972年
-------------	-------

『栃木県立美術館案内』	1972年
-------------	-------

『栃木県立美術館概要』	1972年
-------------	-------

『栃木県立美術館概要』	1983年
-------------	-------

『栃木県立美術館概要』	2011年
-------------	-------

		美術館友の会ニュース『すずかけの庭』第1号、第2号	1973年3月、1973年9月		
		『建築』第118号	1970年8月		
		『建築』第147号	1973年1月		
		『新建築』第57巻7号	1982年7月		
		『建築文化』第37巻第429号	1982年7月		
序-1	石井幹子	シャンデリア	1972年		
序-2	多田美波	周波数FL10-6874	1968年	ステンレス、ミラーガラス	247×273 (×2)
序-3	デザイン：柳 宗理 製作：天童木工	スタッキングチェア	1972年		
【1、コレクション「ゼロ」からの出発】					
コレクションの始まり					
1-1	清水登之	地に憩う	1930年	カンヴァス、油彩	112.1×145.5
1-2	清水登之	地に生きる	1930年	カンヴァス、油彩	112.1×145.5
1-3	阿以田治修	髪	1926年	カンヴァス、油彩	130×162
1-4	刑部 人	友人の肖像	1928年	カンヴァス、油彩	100×80.3
1-5	刑部 人	写生	1961年	カンヴァス、油彩	112.7×145
1-6	石川寒巖	山村暮秋	1926年頃	紙本着色	167×168.8
1-7	石川寒巖	山村暮秋	1926年頃	紙本着色	167×168.8
1-8	濱田庄司	柿釉赤絵扁壺	1971年	陶	23×16.2×9.5
1-9	濱田庄司	白釉黒流描大鉢	1972年	陶	14.5×53.6
1-10	島岡達三	地釉象嵌唐草文皿	1975年	陶	14.5×55
1-11	島岡達三	塩釉象嵌縄文壺	1981年	陶	35×27.5
1-12	川上澄生	初夏の風	1926年	紙、木版多色刷	22.8×35
1-13	川上澄生	時計と着せ替え人形	1930年	紙、木版多色刷	21.3×23.7

1-14	川上澄生	しんでれら出世絵噺	1943年	紙、木版	21×14.7
1-15	川上澄生	蔵書票集	1948年	紙、木版	20.3×15.5
1-16-1	川上澄生	あだんといわ	1948年	紙、木版、 手彩色	18×13.5
1-16-2	川上澄生	あだんといわ	1948年	紙、木版、 手彩色	20.5×15
1-17	川上澄生	あだんといわ	1948年	紙、木版、 手彩色(全 16図)	19×31.5
1-18	川上澄生	蛮船図	1939年	紙、木版、 手彩色	39.5×29.5
1-19	川上澄生	洋燈と女	1955年頃	色紙、木版 多色刷	15.3×12
資-1	川上澄生	洋燈と女 版木		木	
1-20	古川龍生	野の家族	1928年	紙、木版多 色刷	20×15
1-21	古川龍生	昆虫戯画卷（目次）	1933年	紙、木版多 色刷	24.8×34.7
1-22	古川龍生	昆虫戯画卷 平和篇 豊年万作	1933年	紙、木版多 色刷	24.8×34.7
1-23	古川龍生	昆虫戯画卷 争闘篇 草上飛行	1933年	紙、木版多 色刷	24.8×34.7
1-24	古川龍生	昆虫戯画卷 新生篇 黄道吉日	1933年	紙、木版多 色刷	24.8×34.7
1-25	古川龍生	下野の女	1944年	紙、木版多 色刷	33×25.5
1-26	古川龍生	赤い卓上のコップの小草	1955年	紙、木版多 色刷	30×24
1-27	古川龍生	街	1960年	紙、木版多 色刷	33×40

基金を活用した購入（1-29～1-33）

1-28	カミーユ・コロー	ヴィル＝ダヴレーの池（洗濯女たち と水飼場に来る馬）	1847年	カンヴァ ス、油彩	85×100
1-29	クロード・モネ	サン＝タドレスの海岸	1864年	カンヴァ ス、油彩	30.6×69.5
1-30	ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1805-17年 頃	カンヴァ ス、油彩	52.8×44.8
1-31	トマス・ゲインズバラ	牛追いのいる風景	1781年	カンヴァ ス、油彩	122.5× 163.5
1-32	リチャード・ウィルソ ン	アクア・アチェトーサ	1754年頃	カンヴァ ス、油彩	99.1×137.2

1-33	J. M. W. ターナー	風景、タンパリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油彩	88.5×118
------	---------------	--------------	-----------	----------	----------

【Ⅱ、調査研究から展覧会へ】

小泉 斐

2-1	小泉 斐	富嶽全図巻	1801-1805	紙本着色	34.3×1008.1
2-2	小泉 斐	鮎図	1847年	絹本着色	96×35 (寄託)
		『國華』1342号 第113編 第1冊	2007年		
	撮影：野久保昌良	「小泉斐と高田敬輔」展ポスター	2005年		
	デザイン：桑畑吉伸				
	制作：リーヴル				

菊川京三

2-3	菊川京三	伊藤若冲 葡萄双鶏図（部分）	1963年	紙、木版多色刷	28.6×20
		『國華』859号	1963年		
2-4	菊川京三	湯女図（部分）	1934年	紙、木版多色刷	35.9×15.5
2-5	菊川京三	英一蝶「雑画帖」のうち莊子胡蝶の夢	1933年	紙、木版多色刷	26.1×25.3
2-6	菊川京三	英一蝶「雑画帖」のうち莊子胡蝶の夢	1933年	紙、水彩	28.2×39.8
2-7	菊川京三	円山応挙 翁舞図	1940年	紙、木版多色刷	28.2×39.8
2-8	菊川京三	円山応挙 翁舞図	1940年	紙、水彩	35.8×21.7
2-9	菊川京三	雪村周継 観音拝宝塔図	1954年	紙、木版多色刷	21.1×29.1
2-10	菊川京三	雪村周継 観音拝宝塔図	1954年	紙、水彩	28.2×39.8
2-11	菊川京三	葛飾北斎 鸞 垂桜	1948年	紙、木版多色刷	26.7×19.9
2-12	菊川京三	豊臣秀吉像	1937年	紙、木版多色刷	31.1×23.7
2-13	菊川京三	新薬師寺十二神将 波夷羅大將像	1928年	紙、木版多色刷	35.1×21.4
		『國華』600号	1940年		
		『國華』1000号	1977年		
	撮影：大谷一郎	「菊川京三の仕事」展ポスター	2019年		
	デザイン：桑畑吉伸				
	制作：リーヴル				

飯塚琅玕齋と重要無形文化財保持者

2-14	飯塚琅玕齋	花籃 多福	1937年頃	竹	25.6×46.5
2-15	飯塚小玕齋	竹網代まんじ繫文高盤	1976年	竹	12.5×48

2-16	八木澤啓造	花籃 竹時雨	1979年	竹	14×36×45
2-17	勝城蒼鳳	千筋捻摺漆花籃 漣	2002年	竹	36×42.5×22
2-18	藤沼 昇	網代編盛籃 陽光	2018年	竹	25×44×44
資-2	飯塚家	覚書帳	1946-55年頃	紙、墨	1.3×19.5×26.5
資-3	飯塚琅玕齋	《吊花籃 魚籃》のパーツ	1938年頃	竹	5×1.5×0.3
資-4	飯塚琅玕齋	使用印類		木、竹、石	
資-5	飯塚琅玕齋	琅玕齋印譜	1940年代	紙、墨、インク	9.5×4
資-6	飯塚小玕齋	飯塚小玕齋 正倉院調査関連資料	1980年頃	紙、インク、鉛筆	
資-7	飯塚小玕齋	「刺し編み」の編組見本		竹	
資-8	飯塚小玕齋	竹網代まんじ繫文高盤 図面	1977年	紙、鉛筆	38.5×56.5
	撮影：大谷一郎	「竹のめざめ」展ポスター	2014年		
	デザイン・制作：笹川アツコ				
	撮影：大谷一郎	「竹の息吹き」展ポスター	2020年		
	デザイン・制作：笹川アツコ				

鈴木賢二

2-19	鈴木賢二	挿絵原画「鮮満絵土産」	1938-39年頃	紙、インク、鉛筆	12.3×11.5
2-20	鈴木賢二	挿絵原画「鮮満絵土産」	1938-39年頃	紙、インク、鉛筆	12.6×12.2
2-21	鈴木賢二	挿絵原画「火を付けるのは誰か？」 『労働戦線』1946年11月19日刊	1946年	紙、インク、鉛筆	27.3×25.6
2-22	鈴木賢二	挿絵原画「オットアブネー、\「オ、神様仏様…」」 『労働戦線』1946年12月3日刊	1946年	紙、インク、鉛筆	27.3×25.7
2-23	鈴木賢二	挿絵原画「ワルイハワヌケ！」 『労働戦線』1946年12月3日刊	1946年	紙、インク、鉛筆、白絵具	11.5×27.4
2-24	鈴木賢二	挿絵原画「こんなつもりでいるわたし！」 『労働戦線』1947年1月1日刊	1946年	紙、インク、鉛筆、白絵具	29.8×22.7
2-25	鈴木賢二	見つめる	1962年頃	紙、木版	46×45.5
資-9	鈴木賢二	見つめる 版木		木	
2-26	鈴木賢二	モスコー（ソ連旅行スケッチ）	1961年	紙、木炭、	25.7×18.2
2-27	鈴木賢二	モスコー（ソ連旅行スケッチ）	1961年	紙、木炭、	25.7×18.2
2-28	鈴木賢二	毛皮の女	1962年	紙、木版色刷	43.5×34
2-29	鈴木賢二	哺乳	1936年	ブロンズ	20.8×10.7×14.7

2-30	鈴木賢二	暖風	1936年	ブロンズ	25.3×12.3 ×8.8
2-31	鈴木賢二	農婦	1936年	石膏	25×16×9
2-32	鈴木賢二	「鮮満旅行」スケッチ帖 No.1	1938-39年	紙、鉛筆	27.8×24.5
2-33	鈴木賢二	「鮮満旅行」スケッチ帖 No.2	1938-39年	紙、鉛筆	27.8×24.5
2-34	鈴木賢二	「鮮満旅行」スケッチ帖 No.3	1938-39年	紙、鉛筆	27.8×24.5

資-10	鈴木賢二	資料（ソ連アルバム）			
	撮影：大谷一郎	「没後30年 鈴木賢二展」ポスター	2018年		
	デザイン・制作： D_CODE（垣本正哉、 河野素子）				

川島理一郎

2-35	川島理一郎	ナポリよりポッツォリを望む	1925年	カンヴァ ス、油彩	50×60
2-36	川島理一郎	リュクサンブール公園	1925年	カンヴァ ス、油彩	60.6×50
2-37	川島理一郎	セーヌ河の景（ポンヌフ）	1926年	カンヴァ ス、油彩	50.5×61.3
2-38	川島理一郎	絵日記	1915年	紙、水彩、 インク	18×22.5
	撮影：乾 剛	「川島理一郎展」ポスター	2002年		
	デザイン：浅井潔				
	制作：アイメックス・ ファインアート				

清水登之

2-39	清水登之	ニューヨーク、夜のチャイナタウン	1922年	カンヴァ ス、油彩	91×116.7
2-40	清水登之	グラン・ギニョール	1926年	カンヴァ ス、油彩	81.5×65.3
2-41	清水登之	パリ夜街	1926年	カンヴァ ス、油彩	88.9×116.2
	撮影：5×7スタジオ	「清水登之のすべて」展ポスター	2007年		
	デザイン：川添英昭				
	制作：美術出版デザイ ンセンター				

関谷富貴

2-42	関谷富貴	題名不詳	1950-60年 代	カンヴァ ス、油彩 （木枠付）	27.5×22.5
2-43	関谷富貴	題名不詳	1950-60年 代	紙、油彩パ ステルを主 とする混合 技法	38.5×54.8

2-44	関谷富貴	題名不詳	1950-60年代	紙、油彩パ ステルを主 とする混合 技法	54.8×38.5
2-45	関谷富貴	題名不詳	1950-60年代	紙、油彩パ ステルを主 とする混合 技法	38×27
2-46	関谷富貴	題名不詳	1950-60年代	紙、水彩を 主とする混 合技法	33.4×24.8

撮影：大谷一郎
 デザイン：斉藤紀久美
 制作：印象社

2011年

女性アーティストたち

2-47	福島秀子	ホワイトノイズ	1959年	カンヴァ ス、油彩	130.5×92
2-48	片谷暖子(美香)	まどうつもの	1956年	カンヴァ ス、油彩	90.8×73
2-49	岸本清子	題名不詳（泣いて血を吐く…）	1970年代初 め	綿布、アク リル、紙コ ラージュ	127.5× 157.2
2-50	桂 ゆき	くらし	1950年	カンヴァ ス、油彩	91×116.5
	デザイン：桑畑吉伸 制作：コギト(杉浦博)	「奔る女たち」展ポスター	2001年		
	写真提供：愛知県美術 館 デザイン：桑畑吉伸 制作：コギト(杉浦博)	「前衛の女性」展ポスター	2005年		

山中信夫

2-51	山中信夫	カラー・ピンホール（1）	1973年	タイプCプ リント	24.5×29.1
2-52	山中信夫	マチュピチュの太陽（1）	1979-80年	タイプCプ リント	20.5×25.3
2-53	山中信夫	マンハッタンの太陽（1）	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
2-54	山中信夫	東京の太陽（1）	1980-81年	タイプCプ リント	20.4×25.4
	撮影：5×7スタジオ デザイン：万年山隆 制作：印象社	「現代美術になった写真」展ポ スター	1987年		

撮影：5×7スタジオ 「マンハッタンの太陽」展ポスター 2013年
 デザイン・制作：笹川
 アツコ

柄澤 齊

2-55	柄澤 齊	頭	1971年	紙、木口木 6.4×7.2 版
2-56	柄澤 齊	貝	1971年	紙、木口木 9.2×9.6 版
2-57	柄澤 齊	肖像III ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト	1983年	紙、木口木 6.7×11.5 版
2-58	柄澤 齊	肖像IV アルチュール・ランボー	1982年	紙、木口木 19.5×14.6 版
2-59	柄澤 齊	肖像XXV ラファエロ・サンツィオ	1985年	紙、木口木 15.4×18 版
2-60	柄澤 齊	肖像XXXVI ジュゼッペ・アルチンボルド	1985年	紙、木口木 10×7 版
2-61	柄澤 齊	肖像XXXVII エドワルド・ムンク	1986年	紙、木口木 15×21.2 版
2-62	柄澤 齊	肖像XXXVIIIペーテル・ブリューゲル	1993年	紙、木口木 25.5×15.9 版
「柄澤齊展－宙空の輪舞」ポスター 2006年				

【Ⅲ、題名の"たくさんある"展覧会】

3-1	白髪一雄	篆象	1963年	カンヴァス、油彩 184×236.5
3-2	元永定正	O,O,O,O,O	1975年	カンヴァス、アクリル 194×259.1
3-3	吉仲太造	嘔吐	1959年	カンヴァス、油彩 227.3×181.5
3-4	上田 薫	あわG	1979年	カンヴァス、油彩 182×227
3-5	デイヴィッド・ホックニー	島	1971年	カンヴァス、アクリル 152.4×182.9
3-6	渡辺豊重	鬼 その1	2009年	綿カンヴァス、アクリル、松煙、木炭（柳） 200×450
3-7	トーマス・ルフ	ポートレート（ジモーネ・ブッフ）	1988年	タイプCプリント 205×160
3-8	トーマス・シュトルート	ヴァチカン美術館I ローマ	1990年	タイプCプリント 171×211

3-9	リサ・ミルロイ	電球	1989年	カンヴァス、油彩	203.2×284.5
3-10	鬚嘔	レインボー・レインD	1977年	カンヴァス、油彩	259×194
3-11	小林孝亘	House	1996年	綿布張りパネル、油彩	280×250

【IV、印刷物でたどる美術館のあゆみ】

企画展ポスター年譜

企画展図録

鑑賞ガイド

【V、魅せます！県美のコレクション】（常設展示室）

■1階展示室

《日本画》

5-1	谷 文晁	那須眺望図	1799年	絹本着色	47.3×71.3
5-2	谷 文晁	赤壁図	1826年	紙本墨画淡彩	178×94.5
5-3	高久靄厓	溪山間道図	1842年	紙本着色	148.5×81.8
5-4	田崎草雲	栈道積雪	1872年	紙本着色	174.7×85.3
5-5	田崎草雲	一棹揺山	1884年	絹本着色	132×56.5
5-6	小室翠雲	賦色紫桐丹鳳図	1939-45年	紙本着色	159.5×72.2
5-7	石川寒巖	満山之秋	1922年	紙本着色	213×76
5-8	小杉放菴	三笑	1934年	紙本墨画淡彩	76.5×79.9
5-9	小堀鞆音	稚児琴棋書画図	制作年不詳	絹本着色	146.8×71.8 (×2)
5-10	荒井寛方	孔雀明王	1920年代	絹本着色	141.8×50.6
5-11	大山魯牛	老公孫樹	1940年	紙本着色	163×168
5-12	松本哲男	黄山黎明	1987年	紙本着色	172×364
5-13	羽石光志	ひよどりごえ	1965年	紙本着色	228×194
5-14	田中一村	白い花	1955年	絹本着色	71.0×85.8

《明治期の洋画》

5-15	チャールズ・ワーグマン	茶屋女	1876年	カンヴァス、油彩	51×39
5-16	五百城文哉	春日山春景図（桃源図）	1890年頃	カンヴァス、油彩	39.5×79
5-17	高橋由一	驟雨図	1877年頃	カンヴァス（板貼）、油彩	45.5×76.2
5-18	青木 繁	幸彦像	1907年	カンヴァス、油彩	29.8×22.8
5-19	橋本邦助	秋の花	1907年	カンヴァス、油彩	121.5×60.5

5-20	小杉放菴	金太郎遊行	1944年	カンヴァス、油彩	150×136	
《工芸》						
5-21	濱田庄司	青釉白格子描大鉢	1957年	陶	16×58	
5-22	田村耕一	銅彩椿文壺	1976年	陶	30.5×27.6 ×27.5	
5-23	島岡達三	塩釉象嵌縄文皿	1979年	陶	12.2×57	
5-24	加守田章二	曲線彫文筒	1970年	陶	41.8×18.9 ×17.2	(寄託)
5-25	三井安蘇夫	緑影	1975年	銅、鍛金	50×50×25	
5-26	飯塚琅玕齋	吊花籃 魚籃	1938年	竹	48×49×49	
5-27	勝城蒼鳳	粧割千集花文摺漆盛籃 花のゆめ	2017年	竹	20×45	(寄託)
5-28	藤沼 昇	束編花籃 阿伝	2011年	竹	26×44	
5-29	高久空木	干し物	1959年	白山紬、蠟 纈染	175.5×207	
5-30	日下田正	茶綿地浮藍染飾布	2007年	木綿（茶綿）、藍、 染織	132×50.5	
5-31	人見城民	薬草図日光堆朱硯筥	1949年	漆、木	6.6×21× 26.5	
5-32	濱田能生	瑠璃硝子口透花瓶	1982年	ガラス	25×18×18	
■1階 大壁面周辺の立体作品						
5-33	デイヴィッド・ナッシュテーブルと椅子		1984年	木（カバ）	240×340× 340	
5-34	デイヴィッド・ナッシュ歩く梯子		1984年	木（ニレ）	218×190× 64	
5-35	高木 修	Untitled	1993年 （2016年再 制作）	鉄	136×570× 111	
5-36	青木秀憲	宙シリーズー飛翔2001	2001年	アルミニウ	180×110× 50	
5-37	篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974年	アルミニウ ム、ワイ ヤー、真鍮	104×250× 150	
5-38	和久奈南都留	ふるさと	1980年	御影石	100×100× 100	
■2階展示室						
《日本の版画》						
5-39	棟方志功	華狩頌	1954年	紙、木版	131×159	※1階展示 室に展示
5-40	関野準一郎	紅型	1975年	紙、木版	65×57	

5-41	平塚運一	裸婦、明版門神	1975年	紙、木版	76×58	
5-42	斎藤 清	ランプ	1975年	紙、木版	74×44.5	
5-43	笹島喜平	不動明王 No.55	1975年	紙、木版、 拓刷	63×48	
5-44	瑛九	春のおとずれ	1957年	紙、リトグ ラフ	52×40	真岡市蔵 (寄託)
5-45	深沢史朗	Sharaku and I - Box・A	1975年	紙、シルク スクリーン	76×64	
5-46	オノサト・トシノブ	シルク No.61	1974年	紙、シルク スクリーン	24×33	
5-47	駒井哲郎	丘 (日本の四季 春)	1975年	紙、エッチ ング	26×24	
5-48	駒井哲郎	樹木 (日本の四季 秋)	1975年	紙、エッチ ング	26×24	

《西洋の挿絵本》

5-49	トマス・ビューイック	英国鳥類誌	1809(初版、 第1巻: 1797、第2 巻:1804)年	紙、木口木 版	21.5×13	
5-50	リチャード・ドイル	W.アリンガム『妖精の国にて』	1875年(第 2版)	紙、木口木 版	38.6×28	
5-51	ウォルター・クレイン	『小豚の絵本』(ウォルター・クレ インの絵本 第1巻) 「この小さい豚」、「妖精の船」、 「ラッキー・ボーイ王」	1895年	紙、木版、 多色刷	28×23.5	
5-52	ケイト・グリーナウェイ	『ハーメルンの笛吹き』	1888年刊	紙、木口木 版、多色刷	25.5×22	
5-53	オーブリー・ビアズリー	トーマス・マロリー『アーサー王の 死』	1893-94年	紙、ライン ブロック	23.8×18.6	
5-54	J. J. グランヴィル	J.メリー『星々』	1849年	紙、木口木 版、彩色	27.6×18.4	
5-55	ピエール・ボナール	C.テラス曲『ピアノのための家族の 情景集』	1893年	紙、リトグ ラフ	35.5×27.5	
5-56	アルフォンス・ミュシャ	主の祈り	1899年	紙、リトグ ラフ	40.6×30	
5-57	ジョルジュ・バルビエ ジョルジュ・ルパップ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1921年	紙、ポシヨ ワール(ス テンシル)	26×20	
5-58	ギュスターヴ・ドレ	ダンテ『地獄篇』	1861年	紙、木口木 版	43.8×31.4	
5-59	J. J. グランヴィル	T.ドゥロール『生命ある花々』	1867年(初 版 1847年)	紙、鋼鉄 版、彩色	27×31.5	

《美術館と同級生》

5-60	飯田善国	クロマトポイエマ（タイトル1）	1972年	紙、シルク スクリーン	75×55
5-61	飯田善国	クロマトポイエマNo.8	1972年	紙、アクリ ル、シルク スクリーン	75×55
5-62	飯田善国	クロマトポイエマNo.10	1972年	紙、アクリ ル、シルク スクリーン	75×55
5-63	飯田善国	クロマトポイエマNo.12	1972年	紙、アクリ ル、シルク スクリーン	75×55
5-64	飯田善国	クロマトポイエマNo.17	1972年	紙、アクリ ル、シルク スクリーン	75×55
5-65	パトリック・コール フィールド	二匹の小鱈	1972年	紙、シルク スクリーン	105.4× 153.7
5-66	鬚嘔	ナッシュビル・スカイライン 1	1972年	紙、シルク スクリーン	51×36.2
5-67	鬚嘔	ナッシュビル・スカイライン 5	1972年	紙、シルク スクリーン	36.2×51
5-68	鬚嘔	ナッシュビル・スカイライン 7	1972年	紙、シルク スクリーン	51×36.2
5-69	鬚嘔	ナッシュビル・スカイライン 9	1972年	紙、シルク スクリーン	36.2×51
5-70	川上澄生	絵の上の静物	1972年	紙、木版多 色刷	22×24.7
5-71	川上澄生	女と洋燈（牛鍋屋の二階）（女と 洋燈十題 5）	1972年	紙、木版多 色刷	24.5×21.2
5-72	川上澄生	ままごと道具	1972年	紙、木版多 色刷	24×22.5

《知られざる名品たち》

5-73	青木 繁	わだつみのいろこの宮 下絵	1907年	カンヴァ ス、油彩	70.5×31.8
5-74	藤田嗣治	花を持つ少女	1918年	カンヴァ ス、油彩	65×54
5-75	藤田嗣治	桑重儀一送別会寄せ書き	1914年	紙、インク	27.5×20.5
5-76	アーンズビー・ブラウン	九月の朝	1910年代	カンヴァ ス、油彩	39×44
5-77	デイヴィッド・コックス	風景	1800年代	紙、水彩	54×73

5-78	アンディ・ゴールズ ワージー	木が岩を守る足尾の10日間 (1)	1990年	チバクロー ム写真、テ キスト	68.5×84
5-79	アンディ・ゴールズ ワージー	笹の葉、大内山村	1991年11月22日	写真、テキ スト	126× 124.5(写 真)49.5× 42(テキス ト)
5-80	アンディ・ゴールズ ワージー	ミズナラ、足尾、1990年11月	1990年	ミズナラの 葉、竹	15.5×23× 7.5
5-81	草間彌生	すみれ強迫	1975年	紙、水彩、パ ステル、コ ラージュ	54.5×39.5
5-82	草間彌生	魂の眠れる谷間から	1975年	紙、水彩、パ ステル、コ ラージュ	53.0×37.7
5-83	草間彌生	落陽	1953年	紙、水彩、 パステル	32×34.5
《時代をうつすー2000年代栃木の美術》					
5-84	渡辺豊重	オレンジ色の楽園を見た	2000年	カンヴァ ス、油彩、 アクリル、 金箔	194×259
5-85	渡辺豊重	久那瀬 その1	2012年	韓紙、青 墨、松煙、 木炭、アク リル、パス テル	73.3×94.4
5-86	渡辺豊重	久那瀬 その2	2012年	韓紙、青 墨、松煙、 木炭、アク リル、パス テル	66.4×91
5-87	渡辺豊重	久那瀬 その3	2012年	韓紙、青 墨、松煙、 木炭、アク リル、パス テル	74.0×96
5-88	田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイー ング (9.1 1)	2005年	紙、色鉛 筆、ペン	33.5×41
5-89	田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイー ング (ポートピープル)	2005年	紙、色鉛 筆、ペン	33.5×41
5-90	田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイー ング (隕石)	2005年	紙、色鉛 筆、ペン	33.5×41

5-91	田中功起	世界を救うためのプラン・ドローイング（亀裂・地震）	2005年	紙、色鉛筆、ペン	33.5×41
5-92	田中功起	世界を救うためのプラン・ドローイング（植林）	2005年	紙、色鉛筆、ペン	33.5×41
5-93	田中功起	世界を救うためのプラン・ドローイング（紙芝居）	2005年	紙、色鉛筆、ペン	33.5×41
5-94	田中功起	世界を救うためのプラン・ドローイング（砂漠化）	2005年	紙、色鉛筆、ペン	33.5×41
5-95	田中功起	世界を救うためのプラン・ドローイング（津波）	2005年	紙、色鉛筆、ペン	33.5×41
5-96	田中功起	By Chance(2 Ducks)	2003年	DVD	エンドレス
《栃木アート紀行》					
5-97	高橋由一	東北新道石版画 栃木県庁の図	1884年	絹、石版画、手彩色	21.9×27.6
5-98	内田進久	釜川風景	1933年	紙、エッチング	21.2×27.2
5-99	内田進久	残照	1947年	紙、エッチング	29.6×36.4
5-100	内田進久	栃木会館	1955年	紙、エッチング	8.8×13.5
5-101	内田進久	採石図	1936年	紙、エッチング	32×25.8
5-102	内田進久	大谷の採石図	1936年頃	紙、エッチング	28.3×22
5-103	内田進久	大谷風景 No.1	1937年	紙、エッチング	30.4×25.4
5-104	内田進久	大谷風景 No.6	1946年	紙、エッチング	36.2×29.9
5-105	内田進久	益子の轆轤場（屋内）	1949年	紙、エッチング	16.4×27.4
5-106	内田進久	窯出し	1950年	紙、エッチ	36.2×28.3
5-107	海老原友忠	岩舟山	1975年	紙、鉛筆、水彩	44.9×145.6
5-108	海老原友忠	裏岩舟	1982年	紙、鉛筆、水彩	44.1×150
5-109	五百城文哉	日光東照宮		紙、水彩	33×49.2
5-110	小杉放菴	日光東照宮	1900年頃	紙、水彩	51×34
5-111	向井潤吉	雪（ある記録画五題の内） （日光中宮祠戦場ヶ原）	1947年	カンヴァス、油彩	73.3×99.8
5-112	刑部 人	溪流（塩原）	1971年	カンヴァス、油彩	45.5×53

5-113	刑部 人	塩原紅葉	1960年代後半	カンヴァ ス、油彩	45.5×38
5-114	柴田敏雄	栃木県黒磯市（『日本典型』より）	1989年	ゼラチンシ ルバープリ ント	101.6×127
5-115	長 重之	視床 A	1983年	カンヴァ ス、木、油 彩	140×200× 7
5-116	アントワーン・ヴァ トー（原画） G. スコタン（版刻）	田園の遊楽	1729年	紙、エッチ ング	30.7×43.2

■ 2階展示室の立体作品

5-117	神山 明	伝説	1989年	杉、オイル ステイン	147×99× 99
5-118	伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年(再制 作93年)	陶、アクリ ル	61.5×107.3 ×130
5-119	篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973年	カードボー ド、ポリエ ステル樹脂	158×235× 128

《伊東直子マイセン磁器コレクション》

5-120	マイセン磁器	色絵狩猟男女像	1800-25年頃	磁	23.3×28.6
5-121	マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケスト ラ」	1766-18世 紀末	磁	高16.5（22 種23ヶ）
5-122	マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34年	磁	高29.6(4ヶ)
5-123	マイセン磁器	色絵プット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅 21.5
5-124	マイセン磁器	色絵花口カユ付ニッチ	18世紀末	磁	高41×幅30 （2ヶ）
5-125	マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センター ピース	1782-90年頃	磁	57.2× 32.8(2ヶ)
5-126	マイセン磁器	色絵プット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅 23.3
5-127	マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図 瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
5-128	マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるプッ ト」	18世紀後半	磁	高10.4×幅 12.8
5-129	マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725－30年 頃	磁	鉢高9.1受皿 径13.8
5-130	マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニ スとクビド」	1750-60年代	磁	高15.0×幅 14.4

5-131	マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
5-132	マイセン磁器	色絵プット立像・時計・花飾り	1740-50年代	磁	高11.4
5-133	マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ高4.6 ×径7.7、 ソーサー径 13.4
5-134	マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 ローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
5-135	マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー 「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5 ×径7.7、 ソーサー径 12.4
5-136	マイセン磁器	色絵ポプリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26×幅19
5-137	マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
5-138	マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年	磁	高5.2×径 13.3
5-139	マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
5-140	マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウス キー・オツィエルレリーフ皿	1735-45年頃	磁	5.8×φ34.6
5-141	マイセン磁器	色絵花飾鳥プット像鏡	19世紀中頃 か後半	磁	130×80
5-142	マイセン磁器	色絵金彩花卉図蛇形双耳アンフォラ	1860年頃	磁	高48.3×幅 32
5-143	マイセン磁器	色絵貼花狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボ ウル	19世紀後半	磁	37×30.7
5-144	マイセン磁器	色絵オシドリ像	1922年か 23年	磁	高37×幅 18.4
5-145	マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅 34.1

□常設館以外の展示作品

■集会室前

5-146	島田忠恵	O & U	1972年	ブロンズ、 ステンレス	200×200× 100
-------	------	-------	-------	----------------	-----------------

■屋外展示（中庭）

5-147	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	ペネロペ	1907-12年	ブロンズ	240×90× 70
5-148	島田忠恵	餓鬼	1971年	ブロンズ	350×280× 100
5-149	高橋 清	親和	1974年	御影石	250×258× 175

5-150	飯野喜美子	グリーン・ベルト(1)	1976年	ステンレス	90×310× 270
5-151	清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976年	アルミニウム	55×286× 180
5-152	小林泰彦	インヴォケーション（祈り）	1981年	ステンレス	224×68×
5-153	杉浦康益	陶による石の群	1983年	陶器	50×40× 40(×12)
5-154	青木秀憲	「いずみ」"IZUMI"	1981年	ステンレス	4.5×212× 212
5-155	三木俊治	行列	1984年	ブロンズ、 御影石	25×800× 10
■野外彫刻					
5-156	高橋 清	Atlinemi（水の神）	1966年	ブロンズ	90×67×58
5-157	飯田善国	星と人間の間	1972年	ステンレス	1000×450
5-158	館野弘青	微笑	1974年	ブロンズ	180×60×
5-159	堀内正和	ジグザグ立方体	1974年	ステンレス	106×216.5 ×106
5-160	関根伸夫	空相－円錐	1974年	黒御影石	120×120× 120
5-161	保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974年	花崗石、ス テンレス	100×50× 100
5-162	速水史朗	太陽の門	1978年	マンナリー 石	300×128× 90
5-163	リチャード・ディーコン	カタツムリのように（A）	1987年	アルミニウム、鋼鉄	520×680× 560
5-164	手塚登久夫	梟の森 2002	2002年	黒御影石、 赤御影石	207×130× 90

【エピローグ つながる美術館】（オープンスペース）

教育普及事業の紹介

「もう一度見たい！県美コレクション総選挙」

没後40年 山中信夫回顧展

A Retrospective | Nobuo Yamanaka

1948 tokyo-1982 new york | Remastered



ポスター

会 期 = 令和4(2022)年7月16日(土)～9月4日(日)
主 催 = 栃木県立美術館
後 援 = 朝日新聞社宇都宮総局、NHK宇都宮放送局、エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、とちぎテレビ、栃木放送、日本経済新聞社宇都宮支局、毎日新聞社、宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

山中信夫(1948年大阪生まれ、東京出身)は、1971年に《川を写したフィルムを川に映す》という衝撃的な35mmフィルム映像作品で鮮烈なデビューを飾りながらも、1982年に滞在先のニューヨークで34歳の若さで急逝した伝説のアーティスト。

美術評論家の東野芳明、針生一郎、早見堯それぞれのコミッションによって、第11回東京国際版画ビエンナーレ(1979年)、第15回サンパウロ・ビエンナーレ(1979年)、第12回パリ・ビエンナーレ(1982年)に現地制作のサイト・スペシフィックな大作で参加するなど国際的にも高い評価を得ながらも、その活動期間は12年に満たなかった。

しかし、デビュー作を経て写真装置の原点であるピンホール(針穴)に、撮影しながら同時に映写する映像装置という革命的な解釈を施して展開された山中信夫の一連の作品群は、絵画が残した問題を解決するメディアとしての映像と写真の相乗を超え出て、自己と世界との関係を光学的厳密さにおいて対峙させる哲学的境地へと到達させたものであったと歴史化することができる。

没後40年から検証する本展では、約150点の現存する代表作のみならず、貴重なアーカイブ資料を援用しながら、コンセプチュアルな映像とまばゆいピンホール写真による光の遊戯性を再確認するとともに、戦後の視覚芸術に重要な足跡を残した現代美術のレジェンドの一貫した活動の展開を辿った。

観 覧 者 数 3,615人
開 催 日 数 44日(1日平均 82人)
展 示 点 数 172点(展示替え無し)
担 当 者 山本和弘(主任研究員)

作 成 印 刷 物

- 1) 広報宣伝物
ポスター(B2)、チラシ(A4)

関 連 企 画

- 1) 山中信夫《95コのピンホール》(1973年)の35mmオリジナル・カラー・スライドによる再現映写&ギャラリー・トーク

日 時: 7月16日(土) 午後2時～5時
 講 師: 山本和弘(主任研究員)

- 2) ギャラリー・トーク(学芸員による解説)

日 時: 9月4日(日) 午後2時30分～4時30分

出品リスト

※所蔵の表記のないものはすべて栃木県立美術館蔵

N.Y.No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵
3-1	山中信夫	転写(1)	1972年	リスフィル ム	16.3×11.8	
10-1	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (1)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.2×31	
10-2	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (2)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.2×31	
10-3	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (3)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.2×31	
10-4	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (4)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.2×31	
10-5	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (5)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ	25.2×31	
10-6	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (6)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ	31×25.2	
10-7	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (7)	1973年	ゼラチンシ	31×25.2	
10-8	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (8)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	31×25.2	
10-9	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (9)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	31×25.2	
10-10	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (10)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	31×25.2	
10-11	山中信夫	B&Wコンタクトピンホール (11)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	31×25.2	
11-1	山中信夫	カラーピンホール(1)	1973年	タイプCプ リント	29×24.2	
12-1	山中信夫	カラーピンホール (1)	1973年	タイプCプ リント	24.5×29.1	
12-2	山中信夫	カラーピンホール (2)	1973年	タイプCプ リント	24.5×29.1	
13-1	山中信夫	B&Wピンホール (1)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1	

13-2	山中信夫	B & Wピンホール (2)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-3	山中信夫	B & Wピンホール (3)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-4	山中信夫	B & Wピンホール (4)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-5	山中信夫	B & Wピンホール (5)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-6	山中信夫	B & Wピンホール (6)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-7	山中信夫	B & Wピンホール (7)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-8	山中信夫	B & Wピンホール (8)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-9	山中信夫	B & Wピンホール (9)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-10	山中信夫	B & Wピンホール (10)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-11	山中信夫	B & Wピンホール (11)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.3×31.1
13-12	山中信夫	B & Wピンホール (12)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ	25.3×31.1
13-13	山中信夫	B & Wピンホール (13)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ	25.3×31.1
13-14	山中信夫	B & Wピンホール (14)	1973年	ゼラチンシ ルバープリ	25.3×31.1
14	山中信夫	2つ穴のピンホール	1973年	タイプCプ リント	25.4×30.3
16	山中信夫	95コのピンホール	1973年	35mmカ ラースライ ド95枚	(各)5× 5(×95枚)
26	山中信夫	ピンホール・ルーム No.8	1973年	ゼラチンシ ルバープリ ント	243×256

30	山中信夫	9階上のピンホール	1975年	ゼラチンシ ルバープリ ント、スチ	240×400 ×320
33	山中信夫	camera obscura 2	1977年	ゼラチンシ ルバープリ ント、合板	560×400
34	山中信夫	床と壁のピンホール (1)	1977年	ゼラチンシ ルバープリ ント、合板	180×180 ×180
35	山中信夫	床と壁のピンホール (2)	1977年	ゼラチンシ ルバープリ ント、合板	90.5×90× 91
36	山中信夫	床と壁のピンホール (3)	1977年	ゼラチンシ ルバープリ ント、合板	83.5×84× 84.5
39	山中信夫	東京国立近代美術館にてーピンホー ルによる	1979年	ゼラチンシ ルバープリ ント、合板	(各)51× 51(×3枚)
41-1	山中信夫	マチュピチュの太陽 (1)	1980年	タイプCプ リント	20.5×25.3
41-2	山中信夫	マチュピチュの太陽 (2)	1980年	タイプCプ リント	20.5×25.4
42-1	山中信夫	マンハッタンの太陽 (1)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-2	山中信夫	マンハッタンの太陽 (2)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-3	山中信夫	マンハッタンの太陽 (3)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-4	山中信夫	マンハッタンの太陽 (4)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-5	山中信夫	マンハッタンの太陽 (5)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-6	山中信夫	マンハッタンの太陽 (6)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-7	山中信夫	マンハッタンの太陽 (7)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-8	山中信夫	マンハッタンの太陽 (8)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-9	山中信夫	マンハッタンの太陽 (9)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-10	山中信夫	マンハッタンの太陽 (10)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4

42-11	山中信夫	マンハッタンの太陽 (11)	1980年	タイプCプ リント	25.4×30.4
42-12	山中信夫	マンハッタンの太陽 (12)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-13	山中信夫	マンハッタンの太陽 (13)	1980年	タイプCプ リント	25.4×30.4
42-14	山中信夫	マンハッタンの太陽 (14)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-15	山中信夫	マンハッタンの太陽 (15)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-16	山中信夫	マンハッタンの太陽 (16)	1980年	タイプCプ リント	25.4×30.4
42-17	山中信夫	マンハッタンの太陽 (17)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-18	山中信夫	マンハッタンの太陽 (18)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-19	山中信夫	マンハッタンの太陽 (19)	1980年	タイプCプ リント	25.4×30.4
42-20	山中信夫	マンハッタンの太陽 (20)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-21	山中信夫	マンハッタンの太陽 (21)	1980年	タイプCプ リント	25.4×30.4
42-22	山中信夫	マンハッタンの太陽 (22)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-23	山中信夫	マンハッタンの太陽 (23)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-24	山中信夫	マンハッタンの太陽 (24)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-25	山中信夫	マンハッタンの太陽 (25)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-26	山中信夫	マンハッタンの太陽 (26)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-27	山中信夫	マンハッタンの太陽 (27)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-28	山中信夫	マンハッタンの太陽 (28)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-29	山中信夫	マンハッタンの太陽 (29)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4

42-30	山中信夫	マンハッタンの太陽 (30)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-31	山中信夫	マンハッタンの太陽 (31)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-32	山中信夫	マンハッタンの太陽 (32)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-33	山中信夫	マンハッタンの太陽 (33)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-34	山中信夫	マンハッタンの太陽 (34)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-35	山中信夫	マンハッタンの太陽 (35)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-36	山中信夫	マンハッタンの太陽 (36)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
43-37	山中信夫	マンハッタンの太陽 (37)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
42-38	山中信夫	マンハッタンの太陽 (38)	1980年	タイプCプ リント	20.4×25.4
43-1	山中信夫	東京の太陽 (1)	1980-81年	タイプCプ リント	20.4×25.4
43-2	山中信夫	東京の太陽 (2)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-3	山中信夫	東京の太陽 (3)	1980-81年	タイプCプ リント	30.4×25.4
43-4	山中信夫	東京の太陽 (4)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-5	山中信夫	東京の太陽 (5)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-6	山中信夫	東京の太陽 (6)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-7	山中信夫	東京の太陽 (7)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-8	山中信夫	東京の太陽 (8)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-9	山中信夫	東京の太陽 (9)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-10	山中信夫	東京の太陽 (10)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-11	山中信夫	東京の太陽 (11)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4

43-12	山中信夫	東京の太陽 (12)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-13	山中信夫	東京の太陽 (13)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-14	山中信夫	東京の太陽 (14)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-15	山中信夫	東京の太陽 (15)	1980-81年	タイプCプ リント	30.4×25.4
43-16	山中信夫	東京の太陽 (16)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-17	山中信夫	東京の太陽 (17)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-18	山中信夫	東京の太陽 (18)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-19	山中信夫	東京の太陽 (19)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-20	山中信夫	東京の太陽 (20)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-21	山中信夫	東京の太陽 (21)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-22	山中信夫	東京の太陽 (22)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-23	山中信夫	東京の太陽 (23)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-24	山中信夫	東京の太陽 (24)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-25	山中信夫	東京の太陽 (25)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-26	山中信夫	東京の太陽 (26)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-27	山中信夫	東京の太陽 (27)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-28	山中信夫	東京の太陽 (28)	1980-81年	タイプCプ リント	30.4×25.4

43-29	山中信夫	東京の太陽 (29)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-30	山中信夫	東京の太陽 (30)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-31	山中信夫	東京の太陽 (31)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-32	山中信夫	東京の太陽 (32)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-33	山中信夫	東京の太陽 (33)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-34	山中信夫	東京の太陽 (34)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-35	山中信夫	東京の太陽 (35)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-36	山中信夫	東京の太陽 (36)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-37	山中信夫	東京の太陽 (37)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-38	山中信夫	東京の太陽 (38)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-39	山中信夫	東京の太陽 (39)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-40	山中信夫	東京の太陽 (40)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-41	山中信夫	東京の太陽 (41)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-42	山中信夫	東京の太陽 (42)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-43	山中信夫	東京の太陽 (43)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-44	山中信夫	東京の太陽 (44)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-45	山中信夫	東京の太陽 (45)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-46	山中信夫	東京の太陽 (46)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-47	山中信夫	東京の太陽 (47)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-48	山中信夫	東京の太陽 (48)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4

43-49	山中信夫	東京の太陽 (49)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-50	山中信夫	東京の太陽 (50)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-51	山中信夫	東京の太陽 (51)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-52	山中信夫	東京の太陽 (52)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-53	山中信夫	東京の太陽 (53)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-54	山中信夫	東京の太陽 (54)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-55	山中信夫	東京の太陽 (55)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-56	山中信夫	東京の太陽 (56)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-57	山中信夫	東京の太陽 (57)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-58	山中信夫	東京の太陽 (58)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-59	山中信夫	東京の太陽 (59)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-60	山中信夫	東京の太陽 (60)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-61	山中信夫	東京の太陽 (61)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-62	山中信夫	東京の太陽 (62)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-63	山中信夫	東京の太陽 (63)	1980-81年	タイプCプ リント	30.4×25.4
43-64	山中信夫	東京の太陽 (64)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-65	山中信夫	東京の太陽 (65)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-66	山中信夫	東京の太陽 (66)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-67	山中信夫	東京の太陽 (67)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-68	山中信夫	東京の太陽 (68)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4

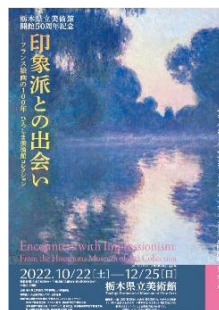
43-69	山中信夫	東京の太陽 (69)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-70	山中信夫	東京の太陽 (70)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-71	山中信夫	東京の太陽 (71)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-72	山中信夫	東京の太陽 (72)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-73	山中信夫	東京の太陽 (73)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-74	山中信夫	東京の太陽 (74)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-75	山中信夫	東京の太陽 (75)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-76	山中信夫	東京の太陽 (76)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-77	山中信夫	東京の太陽 (77)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-78	山中信夫	東京の太陽 (78)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-79	山中信夫	東京の太陽 (79)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-80	山中信夫	東京の太陽 (80)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-81	山中信夫	東京の太陽 (81)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-82	山中信夫	東京の太陽 (82)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-83	山中信夫	東京の太陽 (83)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-84	山中信夫	東京の太陽 (84)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-85	山中信夫	東京の太陽 (85)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-86	山中信夫	東京の太陽 (86)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-87	山中信夫	東京の太陽 (87)	1980-81年	タイプCプ リント	25.4×30.4
43-88	山中信夫	東京の太陽 (88)	1980-81年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.4×30.4

43-89	山中信夫	東京の太陽 (89)	1980-81年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.4×30.4
43-90	山中信夫	東京の太陽 (90)	1980-81年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.4×30.4
43-91	山中信夫	東京の太陽 (91)	1980-81年	ゼラチンシ ルバープリ ント	25.4×30.4
44	山中信夫	ある1つの点 No.1	1981-82年	ゼラチンシ ルバープリ ント、合板	63.5×52.5 ×30
45	山中信夫	ある1つの点 No.2	1981-82年	ゼラチンシ ルバープリ ント、合板	53×74× 38
番外	山中信夫	ピンホール・カメラ		木、銅板、 その他	30×30×8

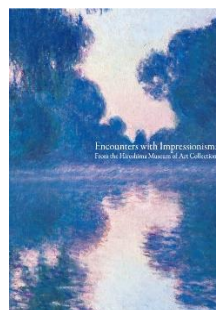
N.Y.No.は作品総目録[カタログ・レゾネ]番号 N.Y.Nos.34,35,36,44,45は栃木県立美術館蔵、他は〔山中利正氏 寄贈〕栃木県立美術館蔵

印象派との出会い —フランス絵画の100年 ひろしま美術館コレクション

Encounters with Impressionism:
From Hiroshima Museum of Art Collection



ポスター



図録

会 期 = 令和4(2022)年 10月22日(土)～12月25日(日)
主 催 = 栃木県立美術館、下野新聞社、共同通信社
特別協力 = 公益財団法人 ひろしま美術館
後 援 = 朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFMミヤラジ、NHK宇都宮放送局、エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、東京新聞宇都宮支局、とちぎテレビ、栃木放送、日本経済新聞社宇都宮支局、毎日新聞社宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

ひろしま美術館は、1978年に創業100周年を迎えた広島銀行が、地域とともに歩んだ歴史の記念事業として設立した美術館である。原爆によって尊い命が失われた広島において、「愛とやすらぎのために」をテーマとしており、そのコレクションは親しみやすいフランス近代絵画や、日本の近代洋画が充実している。本展では、モネやルノワール、セザンヌらの印象派を中心としたフランス近代絵画と、黒田清輝など、当時のフランス美術に大いに影響を受けた日本の洋画家たちの作品を紹介した。各章では印象派から始まるフランスの近代絵画の流れを追うとともに、その影響を受けて制作された日本の画家たちの作品を並べて展示した。開館50周年を記念する展覧会ということで、下野新聞をはじめとした報道各社に取り上げられ、来館者は1万7千人を上回った。1万人目の来館者と、その後1000人ごとに記念品を贈呈した。

関連イベントとして、2つの講演会を行った。ひろしま美術館学芸課長の水木祥子氏による講演会では、本展では紹介しきれなかった、ひろしま美術館の誇るコレクションについて紹介された。五十嵐太郎氏による講演会では、今後の移転新築に向けて、世界のさまざまな美術館建築についてご紹介いただいた。また、初の試みとして来館者自身のスマートフォンで聴く音声ガイドの提供を行った。

観 覧 者 数 17,735人
開 催 日 数 56日(1日平均317人)
展 示 点 数 70点(展示替えなし)
図 録 販 売 481冊
担 当 者 橋本慎司(技幹兼学芸課長)、武関彩瑛(研究員)

作 成 印 刷 物

1) 広報宣伝物

ポスター(B2)、チラシ(A4)

2) 図録『印象派との出会い—ひろしま美術館コレクション』

体裁: B5判変形、165頁、図版 約70点

内容: テキスト: 古谷可由「ひろしま美術館のコレクション～「西洋絵画」と「洋画」～」、山中理彩子「試験室の切り花は根を張るか—明治末～大正初期の京都におけるポスト印象派以降の美術受容—」、武関彩瑛「1910-20年代パリの日本人画家—栃木県立美術館所蔵品を中心に」作家生没年表、出品リスト

編集: 林田龍太、山中理彩子(熊本県立美術館)、橋本慎司、武関彩瑛(栃木県立美術館)、石原康太、廣川暁生(共同通信社)

デザイン: 桑畑吉伸

制作: リーヴル

発行: 栃木県立美術館、熊本県立美術館、共同通信社

関 連 企 画

1) 講演会「ひろしま美術館のコレクションについて」

日 時: 10月22日(土) 午後1時30分～3時

講 師: 水木祥子氏 (公益財団法人ひろしま美術館学芸課長)

会 場: 集会室

2) 講演会「これからの美術館」

日 時: 12月4日(日) 午後1時30分～3時

講 師: 五十嵐太郎氏 (東北大学大学院工学研究科教授)

会 場: 集会室

3) ギャラリー・トーク(担当学芸員による解説)

日 時: 10月30日(日)、11月27日(日)、12月11日(日) 午後2時～3時30分

4) 音声ガイド

10項目についての解説をPodcastにより無償提供

ナビゲーター: 永岡由貴(役者・ナレーター／栃木県出身)

出品リスト

本リストの番号は図録掲載番号であり、展示順とは必ずしも一致しない。

No.4はコクヨ株式会社所蔵、No.26は株式会社大和証券グループ本社所蔵。それ以外の作品は全て公益財団法人ひろしま美術館所蔵。

No.	作者名	作品名	制作年 ／出版年	材質・技法	寸法(cm)	備考
第1章 自然と都市生活へのまなざし——ロマン派、写実主義、バルビゾン派、印象派						
1	ウジェーヌ・ドラクロワ	墓地のアラブ人	1838年	油彩、カン ヴァス	47.3×56	
2	ジャン＝バティスト ・カミーユ・コロー	ボロメ諸島の浴女たち	1872年頃	油彩、カン ヴァス	127×88.3	
3	ギュスターヴ・クールベ	雪の中の鹿のたたかい	1868年頃	油彩、カン ヴァス	60×80	
4	ジャン＝フランソワ・ミレー	羊の毛刈り	1862年	油彩、カン ヴァス	59.5×73	
5	ジャン＝フランソワ・ミレー	刈り入れ	1866-67年	パステル、 カルトン	96×68	
6	浅井 忠	農夫帰路	1887年	油彩、カン ヴァス	135.5× 98.5	
7	ウジェーヌ・ブーダン	ボルドー風景	1874年	油彩、カン ヴァス	48.5×74	
8	エドゥアール・マネ	バラ色のくつ (ベルト・モリゾ)	1872年	油彩、カン ヴァス	46.4×32.5	
9	エドガー・ドガ	馬上の散策	1867-68年	油彩、カン ヴァス	71.0×90.5	

10	エドガー・ドガ	浴槽の女	1891年頃	パステル、 カルトン	71.5×71	
11	アルフレッド・シスレー	サン＝マメス	1885年	油彩、カン ヴァス	54.5×73	
12	クロード・モネ	セーヌ河の朝	1897年	油彩、カン ヴァス	82×93.5	
13	カミーユ・ピサロ	ポン＝ヌフ	1902年	油彩、カン ヴァス	66×81.2	
14	黒田 清輝	白き着物を着せる西洋婦人	1892年	油彩、カン ヴァス	79.5×43.6	
15	ピエール＝オーギュスト	パリ、トリニテ広場 ト	1875年頃	油彩、カン ヴァス	65.3×54.2	
16	ピエール＝オーギュスト	パリスの審判 ト	1913-14年頃	油彩、カン ヴァス	73×92.5	
17	ピエール＝オーギュスト	勝利のヴィーナス	1913年	ブロンズ	59.5×32.5	

第2章 表現の揺らぎと反発——ポスト印象派、新印象派、象徴主義

18	ポール・セザンヌ	曲がった木	1888-90年	油彩、カン ヴァス	46×55	
19	ポール・セザンヌ	座る農夫	1897年頃	油彩、カン ヴァス	55×46	
20	ポール・ゴーギャン	ボア・ダムールの水車小屋の水浴	1886年	油彩、カン ヴァス	60×73	
21	ポール・ゴーギャン	真珠のついた偶像	1892-93年	ブロンズ	22.8×12.5 ×11	
22	ジョルジュ・スーラ	村はずれ	1883年	油彩、板	15.6×24.9	
23	ポール・シニャック	ポルトリユー、グールヴロ	1888年	油彩、カン ヴァス	46.2×55.5	
24	ポール・シニャック	パリ、ポン＝ヌフ	1931年	油彩、カン ヴァス	73×92	
25	岡 鹿之助	積雪	1935年	油彩、カン ヴァス	80.5×100	
26	アンリ・ル・シダネル	ジェルプロワ、胸像	1902年	油彩、カン ヴァス	73×92	栃木展のみ
27	アンリ・ル・シダネル	離れ屋	1927年	油彩、カン ヴァス	150×125	
28	オディロン・ルドン	ペガサス、岩上の馬	1907-10年頃	パステル、 カルトン	80.7×65	熊本展のみ
29	オディロン・ルドン	青い花瓶の花	1912-14年頃	パステル、 カルトン	78×53.8	栃木展のみ

第3章 変貌する色とかたち——ナビ派、フォーヴィスム、キュビズム

30	ピエール・ボナール	白いコルサージュの少女 (レイラ・クロード・アネ嬢)	1930年	油彩、カン ヴァス	91.7×65	
----	-----------	-------------------------------	-------	--------------	---------	--

31	エドゥアール・ヴューヤール	アトリエの裸婦立像	1909年	デトラン プ、紙	155.5×109.2	
32	アンリ・マティス	赤い室内の緑衣の女	1947年	油彩、カン ヴァス	72.7×60.4	
33	ジョルジュ・ルオー	ピエロ	1937-38年	油彩、カン ヴァス	99.8×65.1	
34	アルベール・マルケ	ポン=ヌフとサマリテーヌ	1940年	油彩、カン ヴァス	65×81	
35	キース・ファン・ドンゲン	ヴェネツィアの眺め	1921年	油彩、カン ヴァス	91.9×69.8	
36	ラウル・デュフィ	エプソム、ダービーの行進	1930年	油彩、カン ヴァス	70.7×130.5	
37	モーリス・ド・ヴラマンク	雪景色	1920年以降	油彩、カン ヴァス	88.8×114.2	
38	佐伯 祐三	ロカション・ド・ヴォワチュール	1925年	油彩、カン ヴァス	65×80.5	
39	アンドレ・ドラン	風景の中の裸婦	1925-26年	油彩、カン ヴァス	97×116	
40	パブロ・ピカソ	女の半身像（フェルナンド）	1909年	油彩、カン ヴァス	93×74	熊本展のみ
41	フェルナン・レジェ	踊り（第1作）	1929年	油彩、カン ヴァス	92.2×65.2	
42	ジョルジュ・ブラック	果物入れと果物	1935年	油彩、カン ヴァス	43.3×73	

第4章 "洋画"をめぐる物語——日本における西洋絵画の受容と展開

43	黒田 清輝	洋燈と二児童	1891年	油彩、カン ヴァス	100.4×81	
44	岡田 三郎助	裸婦	1926年	デトラン プ、カン ヴァス	53×33	
45	鹿子木 孟郎	月	制作年不詳	油彩、カン ヴァス	72.5×99.7	
46	南 薫造	春（フランス女性）	1909年頃	油彩、カン ヴァス	67×50.3	
47-1	藤島 武二	音楽六題(ヴァイオリン)	1901-06年	水彩、紙	8.5×8.5	
47-2	藤島 武二	音楽六題(ピアノ)	1901-06年	水彩、紙	9.3×8.3	
47-3	藤島 武二	音楽六題（鼓）	1901-06年	水彩、紙	8.9×8.1	
47-4	藤島 武二	音楽六題（琵琶）	1901-06年	水彩、紙	9.1×8	
47-5	藤島 武二	音楽六題（笛）	1901-06年	水彩、紙	9.3×8.3	
47-6	藤島 武二	音楽六題(三味線)	1901-06年	水彩、紙	7.1×8.2	
48	藤島 武二	日の出	1931年頃	油彩、カン ヴァス	72.2× 100.3	

49	岸田 劉生	支那服を着た妹照子像	1921年	油彩、カン ヴァス	53×45.3
50	小出 檣重	地球儀のある静物	1925年	油彩、カン ヴァス	47×68.3
51	前田 寛治	赤い帽子	1925年	油彩、カン ヴァス	116.7×80.4
52	安井 曾太郎	画室	1926年	油彩、カン ヴァス	128.8×160.5
53	梅原 龍三郎	裸婦	1936年	油彩、カン ヴァス	80.6×65
54	坂本 繁二郎	繫馬	1934年	油彩、カン ヴァス	91×116.8

第5章 芸術家の集まる街——エコール・ド・パリ

55	モーリス・ユトリロ	モンモランシーの通り	1912年頃	油彩、カン ヴァス	58.6×79.7
56	マリー・ローランサン	メゾン・ムブレ	1912年	油彩、板	98×56.7
57	マリー・ローランサン	牝鹿と二人の女	1923年	油彩、カン ヴァス	73×54
58	ジュール・パスキン	緑衣の女	1927年	油彩、カン ヴァス	92×65
59	モイズ・キスリング	ルーマニアの女	1929年	油彩、カン ヴァス	81.2×64.4
60	レオナール・フジタ	裸婦と猫	1923年	油彩、カン ヴァス	55.5×100.5
61	レオナール・フジタ	受胎告知	1927年	油彩、カン ヴァス	150×100
62	レオナール・フジタ	三王礼拝	1927年	油彩、カン ヴァス	150×100
63	レオナール・フジタ	十字架降下	1927年	油彩、カン ヴァス	150×100
64	ハイム・スーティン	にしんと白い水差しのある静物	1922-23年頃	油彩、カン ヴァス	65×54
65	マルク・シャガール	私のおばあちゃん	1928年	グワッ シュ、紙	63.3×48.4
66	マルク・シャガール	河のほとり	1973年	油彩、カン ヴァス	81×100

「二つの栃木」の架け橋 小口一郎展 足尾鉍毒事件を描く

KOGUCHI Ichiro : A Retrospective



ポスター



図録

- 会 期 = 令和5(2023)年 1月21日(土)～3月26日(日)
主 催 = 栃木県立美術館、下野新聞社
特 別 後 援 = 佐呂間町、佐呂間町教育委員会
後 援 = 朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFMミヤラジ、NHK宇都宮放送局、エフエム栃木、
産経新聞社宇都宮支局、東京新聞宇都宮支局、とちぎテレビ、栃木放送、日本経済新聞社
宇都宮支局、毎日新聞社宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

栃木県小山市出身で版画家として活躍した小口一郎(こぐち・いちろう、1914ー1979)は、幼少期より絵画に秀でた才能を示し、1946年に鈴木賢二らが結成した日本美術会の北関東支部の活動に参加し、木版画を手がけるようになると同時に、仲間たちとともに、絵画教室での指導やサークル活動に熱心に取り組んだ。その一方で、田中正造と足尾鉍毒事件のことを知って大きな衝撃を受け、自身のライフワークとしていく。まずは、足尾銅山の鉍毒被害に苦悩する旧谷中村の農民たちと田中正造のこと、次に、厳寒の佐呂間へ移住した人々の生活と帰郷への思い、そして最後に、足尾銅山内部の労働問題の歴史を取り上げ、それぞれ連作版画《野に叫ぶ人々》(1969年)、《鉍毒に追われて》(1974年)、《盤圧に耐えて》(1976年)の3部作にまとめ上げた。これらは小口一郎の代表作として、今なお、高い評価を得ている。

《鉍毒に追われて》に描かれたように、明治期、鉍毒被害に遭った旧谷中村の農民たちは、北海道開拓移民として佐呂間の原野にわたり、栃木集落を形成した。その後、歳月を経て、栃木県への帰郷を果たしたのは、1972年のことである。この時、小口一郎が自ら帰郷運動の世話役を務めた。すなわち、2022年は、栃木県立美術館の開館50周年であると同時に、「もう一つの栃木」から帰郷して50年の節目の年にあたっている。

開館50周年を記念して企画された本展では、小口一郎研究会の全面的な協力を得ることができ、初めて連作版画《野に叫ぶ人々》、《鉍毒に追われて》、《盤圧に耐えて》の全点を一堂に展覧する機会となった。あわせて油彩画や版画作品なども紹介し、知られざる美術家、小口一郎の生涯全体を回顧した。

開幕すると、小口一郎研究会の宣伝力もあって、多くの来館者に恵まれ、図録も閉幕1週間前に完売するほどの好評をいただいた。ポスターとチラシに田中正造のイメージを使用したのも、そのインパクトの強さから、歴史に興味をお持ちの方々の来館者も少なからずあった。また、社会運動に関わる人々からも大きな関心が寄せられ、展覧会開催の意義があったと感じている。

さらに、ありがたいことに、小口一郎研究会からの申し出により、連作版画《野に叫ぶ人々》、《鉍毒に追われて》、《盤圧に耐えて》の3部作全点の寄贈を受けることになった。他の作品についても寄贈の意向をお持ちで、次年度以降に継続して協議を進める予定である。

- 観 覧 者 数 5,672人
開 催 日 数 56日(1日平均101人)
展 示 点 数 318点(展示替えなし)
図 録 販 売 540冊(販売準備部数を完売)
担 当 者 木村理恵子(特別研究員)

作 成 印 刷 物

- 1)広報宣伝物
ポスター(B2)、チラシ(A4)
2)図録『「二つの栃木」の架け橋 小口一郎展 足尾鉍毒事件を描く』
体裁: A5判、220頁、図版 約300点

内容:テキスト:木村理恵子「創造への旅路—小口一郎の生涯と芸術」
年譜(篠崎清次、木村理恵子編)
関連文献、出品リスト

編集:木村理恵子

デザイン・制作:D_CODE

発行:栃木県立美術館

©2023 小口一郎研究会

©2023 栃木県立美術館

関 連 企 画

1) 講演会「足尾銅山鉱毒事件と田中正造—小口一郎「三部作展」に寄せて—」

日 時: 2月26日(日)午後2時～4時

講 師: 安在邦夫氏(早稲田大学名誉教授)

会 場: 集会室

2) 上映会+解説

小口一郎の連作版画による映画を上映後、各回とも、赤上剛氏(田中正造・足尾銅山鉱毒事件研究者)が解説(30分程度)

① 映画「足尾鉱毒事件 野に叫ぶ人々」

(1971年制作、脚本・演出:篠崎隆、上映時間:約28分)

日 時: 1月22日(日)午後2時～4時

会 場: 集会室

② 映画「木版画で描く足尾鉱毒事件 鉱毒に追われて」

(2013年制作、脚本・撮影構成:篠崎隆、上映時間:約45分)

日 時: 2月5日(日)午後2時～4時

会 場: 集会室

③ 映画「版画で描く足尾鉱毒事件 盤圧に耐えて」

(2015年制作、構成・演出・撮影:篠崎隆、上映時間:約48分)

日 時: 2月12日(日)午後2時～4時

会 場: 集会室

3) ギャラリー・トーク

① 小口一郎研究会代表の篠崎清次氏による作品解説

日 時: 1月21日(土)午後3時30分～4時

会 場: 企画展示室入口

② 担当学芸員による作品解説

日 時: 2月18日(土)、3月4日(土)各回とも午後2時～3時

会 場: 企画展示室入口

出品リスト

Cat.No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵
第1章 画家・小口一郎						
1-01	小口一郎	風景 横浜	1937年頃	カンヴァス、油彩	45.6×61.2	小口一郎研究会
1-02	小口一郎	小山機関区	1947年	紙、木炭	49.5×93.3	小口一郎研究会

1-03	小口一郎	小山機関区	1947年	カンヴァ ス、油彩	45.5×53	小口一郎研究会
1-04	小口一郎	小山機関区	1947年	ボード、油 彩	31.7×40.8	小口一郎研究会
1-05	小口一郎	思川八景	1948年	ボード、油 彩	31.6×40.7	小口一郎研究会
1-06	小口一郎	大樹	1948年	カンヴァ ス、油彩	60.5×80.2	小口一郎研究会
1-07	小口一郎	川辺	1948年	カンヴァ ス、油彩	50×65	小口一郎研究会
1-08	小口一郎	中州	1950年	ベニヤ板、 油彩	31.8×40.8	小口一郎研究会
1-09-1		鈴木賢二・小口一郎 『わが町わが村』	1951年	紙、木版	18×12.5	小口一郎研究会／ 栃木県立美術館
1-09-2		日本版画運動協会（編集・発 行）	1956年6月	紙、木版、 謄写版	25×18	小口一郎研究会
1-09-3		日本版画運動協会（編集・発 行）	1956年10月	紙、木版、 謄写版	25×18	小口一郎研究会
1-10		『砂利を運ぶ人々』	1951年	紙、木版	28.4×23.3	小口一郎研究会
1-11-1		夏祭り	1951年	紙、木版	8.5×19.6	小口一郎研究会
1-11-2		滝平二郎(編集・発行) 『日本版画新聞』10号	1952年9月 31日刊	紙、謄写版	38×27	小口一郎研究会
1-12	小口一郎	砂利	1951年	紙、木版	16.2×10.5	小口一郎研究会
1-13	小口一郎	さんばつ	1951年	紙、木版	16.2×10.5	小口一郎研究会
1-14	小口一郎	炭入れ	1951年	紙、木版、 手彩色	11.5×12	小口一郎研究会
1-15	小口一郎	小憩（失対）	1951年	カンヴァ ス、油彩	72.7×90.8	小口一郎研究会
1-16	小口一郎	道路工事	1951年	カンヴァ ス、油彩	45.5×53	小口一郎研究会
1-17	小口一郎	傷痍軍人	1954年	紙、木版	26.5×19.5	小口一郎研究会
1-18	小口一郎	破防法	1954年	紙、木版	6.5×5.7	小口一郎研究会
1-19	小口一郎	ねこ	1954年	紙、木版	10.5×14.5	小口一郎研究会
1-20	小口一郎	坂道	1954年	紙、木版多 色刷	39.5×30.3	栃木県立美術館
1-21	小口一郎	春の花	1954年	紙、木版多 色刷	27×37.7	小口一郎研究会
1-22	小口一郎	はぜかけ	1954年	紙、木版多 色刷	27×20	小口一郎研究会
1-23	小口一郎	思川（1）	1954年	紙、木版多 色刷	22×31	小口一郎研究会

1-24	小口一郎	思川（2）	1954年	紙、木版多 色刷	27×37.8	小口一郎研究会
1-25	小口一郎	夕陽 谷中村	1955年	紙、木版多 色刷	22.7×31.8	小口一郎研究会
1-26	小口一郎	オートメーションと労働者	1956年	紙、木版多 色刷	39×29.5	小口一郎研究会
1-27	小口一郎	リベット打ち	1956年	紙、木版	31.5×43.6	小口一郎研究会
1-28	小口一郎	益子の窯元	1957年	紙、木版	25.5×33.5	小口一郎研究会
1-29	小口一郎	大谷石切場	1957年	紙、木版	30.2×39.6	小口一郎研究会
1-30	小口一郎	大谷石切場（1）	1957年	紙、木版多 色刷	30×38.8	小口一郎研究会
1-31	小口一郎	大谷石切場（2）	1957年	紙、木版	45.2×30	小口一郎研究会
1-32	小口一郎	大谷石切場（3）	1957年	紙、木版多 色刷	30.5×45.5	小口一郎研究会
1-33	小口一郎	屠殺場にて（1）	1957年	紙、木版	87.5×45.4	小口一郎研究会
1-34	小口一郎	レンガ工場	1958年	カンヴァ ス、油彩	41×53	小口一郎研究会
1-35	小口一郎	レンガ工場	1958年	カンヴァ ス、油彩	32×41.2	小口一郎研究会
1-36	小口一郎	レンガ工場 野木	1958年	紙、木版	33×45.5	小口一郎研究会
1-37	小口一郎	埠頭	1958年	カンヴァ ス、油彩	45.7×53.3	小口一郎研究会
1-38	小口一郎	職安	1958年	紙、木版	36.7×67	小口一郎研究会
1-39	小口一郎	代掻き	1958年	紙、木版多 色刷	22.8×33.1	小口一郎研究会
1-40	小口一郎	麦笛	1958年	紙、木版	33.3×25.5	小口一郎研究会
1-41	小口一郎	麦	1958年	紙、木版	28×26	小口一郎研究会
1-42	小口一郎	層雲峡	1958年	ボード、油 彩	40.8×31.8	小口一郎研究会
1-43	小口一郎	層雲峡	1958年	紙、木版多 色刷	40.2×30.2	小口一郎研究会
1-44-1	小口一郎	『丘の松島といわれる岩船山 石切場風景 版画集』	1958年	紙、木版多 色刷	41×31	小口一郎研究会
1-44-2	小口一郎	岩船山 石切場風景（1）	1958年	紙、木版多 色刷	19.4×26.7	小口一郎研究会
1-44-3	小口一郎	岩船山 石切場風景（2）	1958年	紙、木版多 色刷	19.3×26.8	小口一郎研究会
1-44-4	小口一郎	岩船山 石切場風景（3）	1958年	紙、木版多 色刷	19.2×26.8	小口一郎研究会
1-44-5	小口一郎	岩船山 石切場風景（4）	1958年	紙、木版多 色刷	19.8×26.9	小口一郎研究会

1-44-6	小口一郎	岩船山 石切場風景（5）	1958年	紙、木版多	19.2×27.2	小口一郎研究会 色刷
1-45	小口一郎	谷中一景	1959年	紙、木版多	45.7×87	栃木県立美術館 色刷
1-46	小口一郎	水ぬるむ頃	1959年	紙、木版多	22.6×33.2	小口一郎研究会 色刷
1-47	小口一郎	はぜかけ	1960年	紙、エッチ	23×33.5	小口一郎研究会 ング
1-48	小口一郎	工場	1960年	紙、エッチ	13.3×19.5	小口一郎研究会 ング
1-49	小口一郎	波紋	1960年	紙、木版、	25.6×50.8	小口一郎研究会 手彩
1-50	小口一郎	6.4.スト	1960年	紙、木版	27.7×50.7	小口一郎研究会
1-51	小口一郎	地下の犠牲	1961年	紙、木版	34.4×83	小口一郎研究会
1-52	小口一郎	外房風景	1961年	紙、木版	39×87.2	小口一郎研究会
1-53	小口一郎	船舶修理	1962年	カンヴァ	45.5×53.2	小口一郎研究会 ス、油彩
1-54	小口一郎	益子にて	1962年	紙、木版多	21.5×27	小口一郎研究会 色刷（陰 刻）
1-55	小口一郎	たんぽぽ	1962年	紙、木版多	15×27.5	小口一郎研究会 色刷（陰 刻）
1-56	小口一郎	北海の人	1963年	カンヴァ	90.6×72.7	小口一郎研究会 ス、油彩
1-57	小口一郎	網干し	1963年	紙、木版	24.3×33.2	小口一郎研究会
1-58	小口一郎	半農半漁	1963年	紙、木版	42×87.5	小口一郎研究会
1-59	小口一郎	大谷石切場	1963年	紙、木版多	46×36.7	小口一郎研究会 色刷（陰 刻）
1-60	小口一郎	ドック	1964年	カンヴァ	72.8×91	小口一郎研究会 ス、油彩
1-61	小口一郎	漁場の網	1964年	紙、木版多	33.1×48	小口一郎研究会 色刷
1-62	小口一郎	出船	1964年	紙、木版多	19×37.7	小口一郎研究会 色刷
1-63	小口一郎	鎌	1965年	紙、木版	37×54	小口一郎研究会
1-64	小口一郎	柿	1966年	カンヴァ	30.8×41.3	小口一郎研究会 ス、油彩
1-65	小口一郎	小山機関区	1966年	カンヴァ	53×65	小口一郎研究会 ス、油彩
1-66	小口一郎	足尾銅山	1966年	カンヴァ	45.6×53	小口一郎研究会 ス、油彩
1-67	小口一郎	屋根	1966年	紙、木版多	27.7×32.7	小口一郎研究会 色刷（陰 刻）

1-68	小口一郎	赤い眼	1966年	カンヴァ ス、油彩	72.7×91	小口一郎研究会
1-69	小口一郎	岩舟	1967年	カンヴァ ス、油彩	37.8×45.7	小口一郎研究会
1-70	小口一郎	飛驒の印象	1967年	紙、木版	27.5×35	小口一郎研究会
1-71	小口一郎	ガスの中の作業	1968年	紙、木版多 色刷	70×49.5	小口一郎研究会
1-72	小口一郎	自画像	1968年	カンヴァ ス、油彩	53.4×45.7	小口一郎研究会
1-73	小口一郎	赤い眼	1968年	紙、木版多 色刷	23×26	小口一郎研究会
1-74	小口一郎	苦息の労働 足尾	1968年	紙、木版多 色刷	45.5×60	小口一郎研究会
1-75	小口一郎	足尾銅山	1968年	紙、木版多 色刷	45.2×59.2	小口一郎研究会
1-76	小口一郎	北国の行商人	1968年	紙、木版	27.5×36	小口一郎研究会
1-77	小口一郎	工場地帯	1970年	紙、木版多 色刷	27×36	小口一郎研究会
1-78	小口一郎	足尾 松木沢	1972年	カンヴァ ス、油彩	60.7×72.5	小口一郎研究会
1-79	小口一郎	足尾銅山	1972年	カンヴァ ス、油彩	60.8×72.5	小口一郎研究会
1-80	小口一郎	足尾銅山	1972年	カンヴァ ス、油彩	60.6×72.8	小口一郎研究会
1-81	小口一郎	開拓の村 サロマ 1	1972年	カンヴァ ス、油彩	38×45.5	小口一郎研究会
1-82	小口一郎	夕暮 サロマ	1974年	カンヴァ ス、油彩	38×45.6	小口一郎研究会
1-83	小口一郎	自画像	1974年	カンヴァ ス、油彩	65.3×53	小口一郎研究会
1-84	小口一郎	葛生石灰工場	1974年	カンヴァ ス、油彩	31.9×40.9	小口一郎研究会
1-85	小口一郎	石灰工場 葛生	1974年	紙、木版多 色刷（陰 刻）	45.5×60	小口一郎研究会
1-86	小口一郎	図書館 東ドイツ	1974年	紙、木版多 色刷	34.7×53.7	小口一郎研究会
1-87	小口一郎	岩舟にて	1975年	紙、木版多 色刷	27×35.5	小口一郎研究会
1-88	小口一郎	漁場	1976年	紙、木版	27×35.5	小口一郎研究会
1-89	小口一郎	海の声	1976年	カンヴァ ス、油彩	45.6×53.2	小口一郎研究会
1-90	小口一郎	捨てた村	1977年	紙、木版多 色刷	28.8×71.5	小口一郎研究会
1-91	小口一郎	益子 成井窯	1977年	紙、木版	28.5×39.5	小口一郎研究会
1-92	小口一郎	益子の陶工	1977年	紙、木版	49×29	小口一郎研究会

1-93	小口一郎	古い窯場 A	1978年	紙、木版	62×50	小口一郎研究会
1-94	小口一郎	古い窯場 B	1978年	紙、木版	61.5×50	小口一郎研究会
1-95	小口一郎	夜明けの海	1978年	紙、木版	29.8×60.5	小口一郎研究会
1-96	小口一郎	中州	1979年	紙、木版	28.7×38.8	小口一郎研究会
1-f01		『BBBB』1号	1955年1月	紙、謄写版	21.6×15.4	小口一郎研究会
1-f02		『BBBB』2号	1955年5月	紙、謄写版	25.1×17.9	小口一郎研究会
1-f03		『BBBB 版画集』2号	1956年	紙、木版	32.8×22.5	小口一郎研究会／ 栃木県立美術館
1-f04	小口一郎	木版ローラー刷り	1959年	紙、木版多 色刷	35.8×23	小口一郎研究会
1-f05	小口一郎	アトリエ	1960年	紙、エッチ ング	19.5×13.3	小口一郎研究会
1-f06	小口一郎	題不詳〔アトリエにて〕	1972年	紙、鉛筆、 水彩	35.5×25.3	小口一郎研究会
1-f07	小口一郎	題不詳〔アトリエにて〕	1972年	紙、鉛筆	35.5×25.3	小口一郎研究会
1-f08	小口一郎	題不詳〔アトリエにて〕	1972年	紙、鉛筆	35.5×25.3	小口一郎研究会
1-f09	小口一郎	題不詳〔アトリエにて〕	1972年	紙、鉛筆	35.5×25.3	小口一郎研究会
1-f10	小口一郎	題不詳〔アトリエにて〕	1972年	紙、鉛筆	35.5×25.3	小口一郎研究会
1-f11	小口一郎	題不詳〔アトリエにて〕	1972年	紙、鉛筆	35.5×25.3	小口一郎研究会
1-f12	小口一郎	モデル	1976年	カンヴァ ス、油彩	41×32	小口一郎研究会
1-f13	小口一郎	モデル	1976年	カンヴァ ス、油彩	65.2×53	小口一郎研究会
1-f14	小口一郎	仲間たち A（教え子たち）	1976年	紙、木版	45.5×65	小口一郎研究会
1-f15	小口一郎	仲間たち B（話し合い）	1976年	紙、木版	45.7×64.8	小口一郎研究会
1-f16		『とちび 版画小品集』No.1	1966年	紙、木版、 謄写版	26.9×19.5	小口一郎研究会
1-f17		『とちび 版画小品集』No.2	1967年	紙、木版、 謄写版	25.5×17.7	小口一郎研究会
1-f18		『栃木美術会 活動記録 1965-67』	1967年	紙、謄写版	19.1×13.7	小口一郎研究会
1-f19		機関紙『とちび』No.1	1973年	紙、木版、 謄写版	26.2×18.8	小口一郎研究会
1-f20		機関紙『とちび』No.2	1973年	紙、木版、 謄写版	26.2×19	小口一郎研究会
1-f21		機関紙『とちび』No.3	1973年	紙、木版、 謄写版	25.6×18.7	小口一郎研究会
1-f22		機関紙『とちび』No.4	1974年	紙、木版、 謄写版	26.2×18.8	小口一郎研究会
1-f23		機関紙『とちび』No.5	1975年	紙、木版、 謄写版	26×18.4	小口一郎研究会
1-f24		『とちび 版画集』No.1	1970年代	紙、木版、 謄写版	26×36.8	小口一郎研究会
1-f25		小口一郎旧蔵アルバム	1955年	紙、写真	18×25.5	小口一郎研究会

第2章 野に叫ぶ人々

2-01-1	小口一郎	表題	1969年	紙、木版	48×60	小口一郎研究会
2-01-2	小口一郎	制作にあたって	1955-69年 (発表1969年)	紙、水彩	46×60	小口一郎研究会
2-01-3	小口一郎	解題	1955-69年 (発表1969年)	紙、水彩	48×60	小口一郎研究会
2-02	小口一郎	自然に恵まれた豊かな農村 (その一)	1970年頃	紙、木版	29.5×60	小口一郎研究会
2-03	小口一郎	自然に恵まれた豊かな農村 (その二)	1970年頃	紙、木版	18×54.5	小口一郎研究会
2-04	小口一郎	自然に恵まれた豊かな農村 (その三)	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	30.2×48.5	小口一郎研究会
2-05	小口一郎	自然に恵まれた豊かな農村 (その四)	1970年頃	紙、木版	36.5×54	小口一郎研究会
2-06	小口一郎	洪水のあしあと	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	19×47.3	小口一郎研究会
2-07	小口一郎	不安におののく農民	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	26.5×33.4	小口一郎研究会
2-08-1	小口一郎	未曾有の大洪水	1958年 (発表1964年)	紙、木版	45.8×90	栃木県立美術館
2-08-2	小口一郎	未曾有の大洪水 (解題)	1955-69年 (発表1969年)	紙、水彩	40×46	小口一郎研究会
2-09	小口一郎	被害	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	30.2×39.8	小口一郎研究会
2-10-1	小口一郎	鉍毒被害を調査	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	42×60.5	小口一郎研究会
2-10-2	小口一郎	鉍毒被害を調査 (解題)	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	45×52	小口一郎研究会
2-11	小口一郎	農民代表足尾に向う	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	30.5×40	小口一郎研究会
2-12	小口一郎	立ちあがる農民	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	30.2×39.8	小口一郎研究会
2-13	小口一郎	永久示談の強要	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	21×47	小口一郎研究会
2-14	小口一郎	濁水	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	17×35.5	小口一郎研究会
2-15	小口一郎	離散	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	11.3×33.4	小口一郎研究会
2-16	小口一郎	請願	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	18×33.5	小口一郎研究会
2-17	小口一郎	人畜におよぶ被害	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	23.5×43.6	小口一郎研究会
2-18	小口一郎	三期の毒野	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	31.2×47.5	小口一郎研究会
2-19	小口一郎	毒塚	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	28.3×35.8	小口一郎研究会

2-20	小口一郎	発狂する農民	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	28×35.5	小口一郎研究会
2-21	小口一郎	演壇に立つ田中代議士	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	38×54	小口一郎研究会
2-22	小口一郎	大挙上京請願を誓う	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	26×33.2	小口一郎研究会
2-23	小口一郎	川俣事件（その一）	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	29×35.8	小口一郎研究会
2-24-1	小口一郎	川俣事件（その二）	1955年 (発表1964年)	紙、木版	45×150	栃木県立美術館
2-24-2	小口一郎	川俣事件（その二）（解題）	1955-69年 (発表1969年)	紙、水彩	47×58	小口一郎研究会
2-25	小口一郎	請願行動は有罪に	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	18×53	小口一郎研究会
2-26-1	小口一郎	直訴	1955-61年 (発表1964年)	紙、木版	42×88	小口一郎研究会
2-26-2	小口一郎	直訴（解題）	1955-69年 (発表1969年)	紙、水彩	47×67	小口一郎研究会
2-27	小口一郎	救済活動（その一）	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	28.5×36	小口一郎研究会
2-28	小口一郎	救済活動（その二）	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	28.8×36.2	小口一郎研究会
2-29	小口一郎	谷中村買収と家屋強制破壊	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	17×35.5	小口一郎研究会
2-30	小口一郎	谷中村買収と家屋強制破壊 （その二）	1970年頃	紙、木版	18×34.5	小口一郎研究会
2-31	小口一郎	足尾銅山坑夫の暴動	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	29.2×36.2	小口一郎研究会
2-32	小口一郎	足尾銅山	1970年頃	紙、木版	18.8×53.3	小口一郎研究会
2-33	小口一郎	仮小屋の抵抗	1970年頃	紙、木版	18×34.5	小口一郎研究会
2-34	小口一郎	辛酸亦入佳境	1970年頃	紙、木版	29×53	小口一郎研究会
2-35	小口一郎	廃村渡良瀬遊水池に残る墳墓	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	21×52	小口一郎研究会
2-36	小口一郎	不滅の余光（その一）	1955-69年 (発表1969年)	紙、木版	37.8×53.8	小口一郎研究会
2-37-1	小口一郎	不滅の余光（その二）	1970年頃	紙、木版	37.8×54	小口一郎研究会
2-37-2	小口一郎	不滅の余光（解題）	1955-69年 (発表1969年)	紙、水彩	51×63	小口一郎研究会
2-38	小口一郎	憂国の義人 田中正造	1970年頃	紙、木版	14.7×11	小口一郎研究会
2-39	小口一郎	萱刈騒動（その一）	1970年頃	紙、木版	22.6×29.5	小口一郎研究会
2-40-1	小口一郎	萱刈騒動（その二）	1970年頃	紙、木版	37.5×53.5	小口一郎研究会
2-40-2	小口一郎	萱刈騒動（解題）	1970年頃	紙、水彩	54×70	小口一郎研究会
第3章 鉋毒に追われて						
3-01-1	小口一郎	表題	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	47×84.5	小口一郎研究会

3-01-2	小口一郎	制作にあたって	1971-73年 (発表1974年)	紙、水彩	41.5×71	小口一郎研究会
3-02	小口一郎	1. 治水か破水か	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38.5×54	小口一郎研究会
3-03	小口一郎	2. 移住奸策	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-04	小口一郎	3. 北海道移住	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×52	小口一郎研究会
3-05	小口一郎	4. 移住民の出発	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	36×51	小口一郎研究会
3-06	小口一郎	5. 膝を没する雪の中を	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	37×54	小口一郎研究会
3-07	小口一郎	6. 先住民の民家に分宿	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-08	小口一郎	7. 峠を越えて	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×54	小口一郎研究会
3-09	小口一郎	8. 原生林に挑む	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38.5×53	小口一郎研究会
3-10	小口一郎	9. 熊の棲家を人の住む土に	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×54	小口一郎研究会
3-11	小口一郎	10. 拝み小屋	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	35×51	小口一郎研究会
3-12	小口一郎	11. 熊の出没	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-13	小口一郎	12. 馬鈴薯を植えつけたが	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	37×52	小口一郎研究会
3-14	小口一郎	13. 食糧	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-15	小口一郎	14. 巨木の仕末	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-16	小口一郎	15. 山火事	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	35×52	小口一郎研究会
3-17	小口一郎	16. 冷害	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×54	小口一郎研究会
3-18	小口一郎	17. 山麓を喰う	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	37×52	小口一郎研究会
3-19	小口一郎	18. 栃木神社	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-20	小口一郎	19. 栃木児童教授所	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	35×53	小口一郎研究会
3-21	小口一郎	20. 生活の知恵	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×51	小口一郎研究会
3-22	小口一郎	21. 雪中作業	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×54	小口一郎研究会
3-23	小口一郎	22. 八木節で故郷を偲ぶ	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×49	小口一郎研究会
3-24	小口一郎	23. 栃木歌舞伎	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×54	小口一郎研究会
3-25	小口一郎	24. 俺はだまされた	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×54	小口一郎研究会

3-26	小口一郎	25. 移住地の墓	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38.5×54	小口一郎研究会
3-27	小口一郎	26. 廃家	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-28	小口一郎	27. 若人は職を求めて	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-29	小口一郎	28. 祭日の子供角力	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-30	小口一郎	29. 二代目に引き継がれた請願	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-31	小口一郎	30. 三代目の窮地	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×52	小口一郎研究会
3-32	小口一郎	31. 住職も労働者に	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-33	小口一郎	32. 請願の動き	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-34	小口一郎	33. 老人会の送別	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×52	小口一郎研究会
3-35	小口一郎	34. 財産の処分	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-36	小口一郎	35. 帰郷	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-37	小口一郎	36. 鋤を捨てて労働者に	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-38	小口一郎	37. 第三の居住地を求める	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-39	小口一郎	38. 鋼鉄の爪跡	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×54	小口一郎研究会
3-40	小口一郎	39. 谷中遊水池の変貌	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-41	小口一郎	40. 老婆の話	1971-73年 (発表1974年)	紙、木版	38×53	小口一郎研究会
3-42	小口一郎	スケッチブック「足尾銅山スケッチ」	1973年6月	紙、水彩、 ペン、鉛筆	27.2×23.5	小口一郎研究会
3-43	小口一郎	下絵スケッチNo.1	1973年頃	紙、鉛筆、 墨	38.4×54.2	小口一郎研究会
3-44	小口一郎	下絵スケッチNo.5	1973年頃	紙、鉛筆、 墨	38.4×54.2	小口一郎研究会
3-45	小口一郎	下絵スケッチNo.18	1973年頃	紙、鉛筆、 墨	38.4×54.2	小口一郎研究会
3-46	小口一郎	下絵スケッチNo.27	1973年頃	紙、鉛筆、 墨	38.4×54.2	小口一郎研究会
3-47	小口一郎	下絵スケッチNo.35	1973年頃	紙、鉛筆、 墨	38.4×54.2	小口一郎研究会

第4章 盤圧に耐えて

4-01-1	小口一郎	表題	1974-75年	紙、木版	29.5×43.5	小口一郎研究会
4-01-2	小口一郎	解題	1974-75年	紙、水彩	29.5×43.5	小口一郎研究会
4-02	小口一郎	1. 渡良瀬川をさかのぼる	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-03	小口一郎	2. 死の川	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-04	小口一郎	3. 地獄の山	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-05	小口一郎	4. 足尾銅山	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-06	小口一郎	5. 銅山の歴史	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-07	小口一郎	6. 富国強兵	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-08	小口一郎	7. 徳川時代のしくみ	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-09	小口一郎	8. 禁足令と落職	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-10	小口一郎	9. 政、財界とのつながり	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-11	小口一郎	10. 銅山買収当時の足尾	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-12	小口一郎	11. 囚人を使う	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-13	小口一郎	12. 女衆坑内労働	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-14	小口一郎	13. 坑夫の募集	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-15	小口一郎	14. 鉋脈の発見（直利）	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-16	小口一郎	15. 明治の中期	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-17	小口一郎	16. 波にのる古河	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-18	小口一郎	17. 鉄索の架設	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-19	小口一郎	18. 永岡鶴蔵の決意（永岡、 片山、南）	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-20	小口一郎	19. 足尾に入った永岡	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-21	小口一郎	20. 至誠会の動き	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-22	小口一郎	21. 職場の要求をかかげて	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-23	小口一郎	22. ラッパ節にみる足尾の窮状	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-24	小口一郎	23. 鉋毒事件	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-25	小口一郎	24. 鉋毒予防工事	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-26	小口一郎	25. 暴動争議	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-27	小口一郎	26. 軍隊による鎮圧	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-28	小口一郎	27. 足尾を追われた幹部たち	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-29	小口一郎	28. のしあがる財閥	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-30	小口一郎	29. ロシヤ革命と米騒動	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-31	小口一郎	30. 軍需産業と景気	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-32	小口一郎	31. 山神祭	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-33	小口一郎	32. 模範工員	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-34	小口一郎	33. 社長の巡視	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-35	小口一郎	34. 全国にひろがる労働争議	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-36	小口一郎	35. 足尾最初のメーデー	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-37	小口一郎	36. 解雇状に挑む	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-38	小口一郎	37. 戦争と労働者	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-39	小口一郎	38. 園遊会で労資和合	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会

4-40	小口一郎	39. 職場の動き	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-41	小口一郎	40. 戦時中の足尾	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-42	小口一郎	41. 外人労働者の就労	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-43	小口一郎	42. 外人強制労働	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-44	小口一郎	43. 終戦	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-45	小口一郎	44. 労働者は民族のちがいを越えて	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-46	小口一郎	45. 立場を越え愛の交流	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-47	小口一郎	46. 組合結成に火の手あがる	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-48	小口一郎	47. 食糧危機突破！県民大会	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-49	小口一郎	48. 再び盛り上ったメーデー	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-50	小口一郎	49. 朝鮮動乱前夜	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-51	小口一郎	50. レッドパージの蔭に	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-52	小口一郎	51. 安保闘争	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-53	小口一郎	52. 合理化のあとに生死の事故が	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-54	小口一郎	53. 勇退勧告	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-55	小口一郎	54. 町のうわさ	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-56	小口一郎	55. 政党支持の自由を	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-57	小口一郎	56. 原水禁大会で訴える	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-58	小口一郎	57. 切りくずし あの手 この手	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-59	小口一郎	58. 闘争164日目	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-60	小口一郎	59. 闘いの輪をひろげて	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-61	小口一郎	60. 仲間に訴える"ガンバロウ"機関紙	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-62	小口一郎	61. プール制を組んで家族ぐるみの闘争へ	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-63	小口一郎	62. 銅山検証に厳戒令をだす会社	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-64	小口一郎	63. 二年振りに入坑した同盟たち（不当解雇反対同盟）	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-65	小口一郎	64. 全国からのはげましに	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-66	小口一郎	65. クルーシステム	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-67	小口一郎	66. 家族そろってピクニック	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-68	小口一郎	67. 裁判闘争報告会	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-69	小口一郎	68. 勝利を更に不動のものに	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-70	小口一郎	69. さらに闘争を練る	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-71	小口一郎	70. 裏切り者の委員長	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-72	小口一郎	71. 町政への横暴許さず	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-73	小口一郎	72. 墓穴を掘った証人	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-74	小口一郎	73. 地方選挙の勝利	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-75	小口一郎	74. 合理化は何をもたらすか	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-76	小口一郎	75. 閉山問題	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-77	小口一郎	76. 勝ったぞ！連帯の力	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-78	小口一郎	77. よろけ病（銅山病）	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会

4-79	小口一郎	78. 人影のない長屋	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-80	小口一郎	79. あとは野となれ	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-81	小口一郎	80. 閉山といえど	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	小口一郎研究会
4-82	小口一郎	スケッチブック「盤耐」	1974年8月	紙、水彩、 鉛筆	41.3×33	小口一郎研究会
4-83	小口一郎	下絵スケッチ No.1	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会
4-84	小口一郎	下絵スケッチ No.4	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会
4-85	小口一郎	下絵スケッチ No.9	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会
4-86	小口一郎	下絵スケッチ No.21	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会
4-87	小口一郎	下絵スケッチ No.36	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会
4-88	小口一郎	下絵スケッチ No.39	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会
4-89	小口一郎	下絵スケッチ No.43	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会
4-90	小口一郎	下絵スケッチ No.62	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会
4-91	小口一郎	下絵スケッチ No.63	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会
4-92	小口一郎	下絵スケッチ No.78	1974年頃	紙、鉛筆	27×38.2	小口一郎研究会

■常設展示

コレクション展Ⅰ「魅せます！県美のコレクション」 （「題名のない展覧会」第5章）

展示期間 = 令和4(2022)年4月16日(土)～6月26日(日)

企画展「題名のない展覧会—栃木県立美術館 50年のキセキ」は、企画展示室、常設展示室の全館を使って展示した。企画展の第5章にあたるコレクション展Ⅰは「魅せます！県美のコレクション」とし、コレクション展単独でも楽しめる内容とした。1階は日本画や明治期の洋画、工芸の名品を、2階は西洋挿絵本や版画の名品のほか、50周年にちなんだテーマに沿って、当館の多彩なコレクションを披露した。

担当者 = 鈴木さとみ(主任研究員)、志田康宏(主任)、大城茉里恵(研究員)、
武関彩瑛(研究員)

※出品作品リストは企画展「題名のない展覧会」第5章を参照。

常設館以外の展示作品(屋外展示(中庭)、野外彫刻))を含め、「題名のない展覧会」の第5章とした。

コレクション展Ⅱ「特集 小堀鞆音」

展示期間 = 令和4(2022)年7月16日(土)～10月6日(水)
前期:7月16日(土)～8月14日(日)
後期:8月16日(火)～10月6日(水)
※ 9月5日(月)～23日(金)は休館
※ 9月24日(土)～10月6日(木)、2階展示室にて「絵のように美しい浙江省の風景～日中友好交流写真展」を開催。

佐野に生まれ、近代歴史画の大家となった日本画家・小堀鞆音(1864-1931)による館蔵作品のうち、近年寄贈された作品を中心に紹介した。小堀鞆音は、有職故実研究に基づく歴史画家としての修業を積み、当時最も重視された絵画ジャンルである「歴史画」の第一人者としてその地位を確立した。東京美術学校で教鞭を執ったほか、「歴史風俗画会」を結成し武具や甲冑の研究にも務め、歴史画の研究と発展に寄与した。また、安田靉彦や羽石光志など歴史画を得意とする後進の画家たちも育てた。本展では「歴史画・歴史人物画」や「有職故実」に加え「景物画」、「一門と宝珠」というように描かれたモチーフにより作品を分類し、歴史画だけでなく鞆音の作風にも親しんでもらえるよう努めた。

2階展示室では、「夏」をテーマに様々な作家が描いてきた水辺の風景や森を描いた作品を多数展示した。

担当者 = 志田康宏(主任)

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
《特集 小堀鞆音》					
〔歴史画・歴史人物画〕					
小堀鞆音	業平朝臣角田川詠歌図	制作年不詳	絹本着色	126.4×42.2	前期
小堀鞆音	石山参籠之図	制作年不詳	絹本着色	125×50.2	前期(寄託)
小堀鞆音	宇智野の雪	1898年	絹本着色	179×97.5	前期(寄託)
小堀鞆音	神武天皇像	1900年	絹本着色	111.1×43.2	前期(寄託)
小堀鞆音	神詣図	制作年不詳	絹本着色	101.5×40.8	前期
小堀鞆音	判官義経	制作年不詳	絹本着色	116×41.5	前期(寄託)
小堀鞆音	猿田彦命図	制作年不詳	絹本着色	106.8×40.7	後期
小堀鞆音	神功皇后像	制作年不詳	絹本着色	52.5×84	後期(寄託)
小堀鞆音	坂上田村麻呂奉抱葛井親王図	1930年頃	絹本着色	126.2×33.2	後期
小堀鞆音	太公望図	制作年不詳	絹本着色	144.3×51.2	後期
小堀鞆音	伊勢観龍門瀑布図	制作年不詳	絹本着色	144.5×48.5	後期
小堀鞆音	西行過鎌倉及兵談図	制作年不詳	絹本着色	114.7×41.2	後期
小堀鞆音	顕基賞月図	制作年不詳	絹本着色	125.5×30.6	後期
小堀鞆音	業平朝臣図	制作年不詳	絹本着色	129×30.6	後期
小堀鞆音	恩賜の御衣	1898年	絹本着色	110.8×163.5	前期
小堀鞆音	菅神図	制作年不詳	絹本着色	106×40	前期(寄託)

小堀鞆音	頼政詣高倉宮図	1907年	絹本着色、双幅	138.3×50.2	前期
〔景物画〕					
小堀鞆音	立雛図	制作年不詳	紙本着色	121.7×29.7	前期
小堀鞆音	詠月図	制作年不詳	紙本着色	29.5×44.7	前期
小堀鞆音	印地打（皐月）	制作年不詳	紙本着色	130.5×30.1	前期
小堀鞆音	供氷（林鐘）	制作年不詳	紙本着色	130×30.1	前期
小堀鞆音	七夕（夷則）	制作年不詳	紙本着色	130×30.1	前期
小堀鞆音	観月（王秋）	制作年不詳	紙本着色	130.2×30.1	前期
小堀鞆音	狂言空穗猿	制作年不詳	紙本着色	31.8×43.9	後期
小堀鞆音	萬歳楽図	制作年不詳	紙本着色	111×41	後期
小堀鞆音	稚松之図	制作年不詳	紙本着色	122.3×30.8	後期
小堀鞆音	詩歌管弦	制作年不詳	紙本着色	154.4× 368.4(×2)	後期
小堀鞆音	住吉図	制作年不詳	絹本着色	28.9×25	
小堀鞆音	山水図	制作年不詳	紙本墨画	17.5×14.6	
小堀鞆音	翁面図	制作年不詳	絹本着色	17.5×14.6	
小堀鞆音	桜狩図	制作年不詳	絹本着色	127.6×51	前期
小堀鞆音	牛車女房図	制作年不詳	絹本着色	124.5×35.5	前期
小堀鞆音	布袋図	制作年不詳	絹本着色	120.0×39.0	前期（寄託）
小堀鞆音	龍図	制作年不詳	絹本墨画	92.8×25.7	前期
小堀鞆音	奔馬図	制作年不詳	絹本着色	58.3×60.0	前期
小堀鞆音	牧場図	制作年不詳	絹本着色	130.3×42	前期
小堀鞆音	美人図	制作年不詳	紙本墨画淡彩	128.5×31.4	後期
小堀鞆音	大黒天図	1912年	紙本墨画	110.5×27.5	後期
小堀鞆音	魚介図	制作年不詳	紙本墨画	114.6×30	後期
小堀鞆音	白象図	1913年	紙本墨画	130×29.5	後期
小堀鞆音	菊花図	1913年	紙本着色	122.5×29.8	後期
小堀鞆音	旭日波図	制作年不詳	紙本着色	131×30.8	後期
〔有職故実〕					
小堀鞆音	管弦図	制作年不詳	紙本着色	201.5×48.3	前期（寄託）
小堀鞆音	結城合戦図	制作年不詳	紙本着色	112.5×42	前期
小堀鞆音	鷹狩図	制作年不詳	紙本着色	151×50.5	前期（寄託）
小堀鞆音	尚武図	1913年	紙本着色	116.5×41	前期
小堀鞆音	室遊女詠歌図	制作年不詳	紙本着色	34.5×34.5	後期

小堀鞆音	文武図	制作年不詳	紙本着色	132.4×41.7	後期
小堀鞆音	太刀図	制作年不詳	紙本墨画淡彩	36×6	後期

〔一門と宝珠〕

小堀鞆音	宝珠図	1928年	紙本着色	132.2×33	前期
小堀鞆音	宝珠図	1924年	紙本墨画	129.4×60.8	前期
王欽古	山水	1887年頃	絹本着色	136.4×55.9	前期
小堀鞆音	宝珠図	1920年	紙本着色	109.3×29.7	後期
小堀鞆音	宝珠図	1924年	紙本墨画	129.8×30	後期
小堀鞆音	宝珠図	1921年	紙本墨画	131×55	後期
小堀鞆音	業平訪住吉図（画稿）	制作年不詳	紙本墨画	122.2×41.2	後期
小堀鞆音	稚児琴棋書画図	制作年不詳	絹本着色	146.8×71.8	
羽石光志	二上山	1975年	紙本着色	157×118	
羽石光志	飛鳥の太子	1971年	紙本着色	191×138.5	
羽石光志	馬嵬の楊貴妃	1979年	紙本着色	180×133	

〔佐野の工芸〕

田村耕一	葡萄文角瓶	1979年	陶	27.5×12×12	
田村耕一	鉄絵銅彩ほたる袋文大皿	1986年	陶	10.3×φ46.7	
三井安蘇夫	鍛金孔雀鳩香炉	1934年	鉄、鍛金	11.0×17.7×22	
三井安蘇夫	草花文壺	1987年	銅、鍛金	26.3×φ26.7	

■1階 大壁面周辺の立体作品

ナッシュ, デイヴィッド	テーブルと椅子	1984年	木（カバ）	240×340×340	
ナッシュ, デイヴィッド	歩く梯子	1984年	木（ニレ）	218×190×64	
高木修	Untitled	1993年 （2016年	鉄	136×570×111	
青木秀憲	宙シリーズー飛翔2001	2001年	アルミニウム	180×110×50	
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974年	アルミニウム、ワイヤー、真鍮	104×250×150	
和久奈南都留	ふるさと	1980年	御影石	100×100×100	

■ 2階展示室

《夏》

[古川龍生の描く夏]

古川龍生	ダイビング	1958年	紙、木版	23×18	前期
古川龍生	海辺の午睡	1967年	紙、木版	31×41.5	前期
古川龍生	海辺の女友達	1966年	紙、木版	33×40	前期
古川龍生	海辺の更衣室	1967年	紙、木版	29×36	前期
古川龍生	海に見える丘	1965年	紙、木版	31×27	前期
古川龍生	外苑白雨	1935年	紙、木版	23.3×35.4	前期
古川龍生	外苑白雨	1934年	紙、木版	28×41	前期
古川龍生	麦	1927年頃	紙、木版	11.7×11.3、 21.9×11.3、 21.9×11.3、 22.2×11.3、 21.8×11.2 (全5図)	前期
古川龍生	蠨螂	1935年	紙、木版	27×36	後期
古川龍生	真夏の海辺	1967年	紙、木版	30.5×41.5	後期
古川龍生	海と四人の少女	1967年	紙、木版	36×41	後期
古川龍生	海辺の二少女	1966年	紙、木版	29×34	後期
古川龍生	海辺のつどい	1967年	紙、木版	31×37	後期
古川龍生	打者	1959年	紙、木版	22.5×30	後期
古川龍生	球児三態	1931年	紙、木版、手彩色	21×30	後期
古川龍生	捕手	1931年	紙、木版	24×33	後期

[西洋絵画]

モネ, クロード	サン=タドレスの海岸	1864年	カンヴァス、油彩	30.6×69.5
トワソン, コンスタン	水を渡る牛（帰途）	1855-60年頃	カンヴァス、油彩	76.5×98
ターナー, J.M.W.	風景、タンバリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油彩	88.5×118
コンスタブル, ジョージ	デダムの谷	1805-17年頃	カンヴァス、油彩	52.8×44.8

[水景]

川上澄生	海に見える風景	1926年	紙、木版多色刷	22.3×31.0	前期
川上澄生	初夏の風（ローマ字版）	1926年	紙、木版多色刷	21.5×15	前期
川上澄生	あうゝ えまりあ あうゝ え海の星	1950年	藍紙、木版単色 刷、手彩色	63.5×43.5	後期
川上澄生	あ うゝ えまりあ あ うゝ え海の星	1950年	藍紙、木版単色 刷、手彩色	48.5×38	後期
阿以田治修	海辺一景	1931年	カンヴァス、 油彩	130.5×194	
笹島喜平	初夏の山湖（中禅寺湖）	1957年	紙、木版	23.2×52.4	前期
笹島喜平	奥入瀬	1956年	紙、木版	33.4×48.4	前期
笹島喜平	南豆の海	1940年	紙、木版	41.8×52.7	前期
笹島喜平	晩夏	1946年	紙、木版	38.5×51.4	後期
笹島喜平	草提晩夏城端	1947年	紙、木版（拓刷）	38.7×51.2	後期
笹島喜平	千鳥ヶ渚附近	1954年	紙、木版	34.5×45.2	後期
渡辺豊重	夏のひと	1982年	紙、シルクスク リーン	52×40.7	前期
川上澄生	夏の夜の夢	1925年頃	紙、木版二色刷	17.5×22.3	後期

〔森景〕

刑部人	桔梗の庭	1966年	カンヴァス、 油彩	53×65.1	
刑部人	山の牧場（奥日光・光徳牧場）	1956年	カンヴァス、 油彩	117×91	
原田平治郎	森のある風景	1997年	カンヴァス、 油彩	117×91	
刑部人	山の別荘	1949年	カンヴァス、 油彩	100×80.3	
清水登之	風景（森の中）	1939年頃	カンヴァス、 油彩	45.5×53	
片柳忠男	二つの太陽		カンヴァス、 油彩	80.3×100	

〔大山魯牛の描く山〕

大山魯牛	追憶の山B	1957年	紙本着色	129×78.5	
大山魯牛	夏	1966年	紙本着色	136×92	
大山魯牛	滴翠	1975年	紙本着色	91×159	
大山魯牛	棲隠	1970年代 後半	紙本着色	93×120	
大山魯牛	白雲来去	1980年	紙本着色	117×167	

【異界】

橋本龍美	野火	1971年	紙本着色	82.3×136
松本竜	坂	1976年	カンヴァス、油彩	130.3×97
和気史郎	虚	1971年	カンヴァス、油彩	229×184
若佐慎一	百目鬼：今までもこれからも全 てお見通し	2021年	和紙／岩絵具	130.6×89.6
服部しほり	日光補陀落山縁起図	2021年	紙本着色、金箔、銀箔	221×91

【光と湿度】

荒井孝	熱国、光と闇	2005年	紙本着色	170×210
橋本邦助	微酔	1909年	カンヴァス、油彩	65×50

■ 2 階展示室の立体作品

神山明	伝説	1989年	杉、オイルステイン	147×99×99
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年(再 制作93年)	陶、アクリル	61.5×107.3 ×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973年	カードボード、ポリ エステル樹脂	158×235× 128

《伊東直子マイセン磁器コレクション》

マイセン磁器	色絵神話人物群像「アンフィト リテの勝利」	19世紀後半	磁	高44.6×幅54
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケス トラ」	1766-18世 紀末	磁	高16.5（22種 23ヶ）
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34年	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵プット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅 21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植 木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3 （2ヶ）
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用セン ターピース	1782-90年 頃	磁	57.2× 32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵プット立像「漁師」	18世紀後 半	磁	高14.3×幅 23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー炔器赤絵金彩人 物図瓶	1710-15年 頃	磁	12.5×10.3

マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのる プット」	18世紀後 半	磁	高10.4×幅 12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、 受皿	1725-30 年頃	磁	鉢高9.1受皿 径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、ア ドニスとクピド」	1750-60年 代	磁	高15×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵プット立像・時計・花飾り	1740-50年 代	磁	高11.4
マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年 代	磁	カップ高4.6 ×径7.7、ソー サー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソー サー「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5 ×径7.7、ソー サー径12.4
マイセン磁器	色絵ポップリ壺付群像「慈愛の寓 意」	18世紀中頃	磁	高26×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774- 1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ 像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ブルコウス キー・オツィエルレリーフ皿	1735-45年 頃	磁	5.8×φ34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥プット像鏡	19世紀中 頃か後半	磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポ プリ壺	19世紀後 半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花狩猟図鹿浮彫蓋付パン チボウル	19世紀後 半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オシドリ像	1922年か 23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後 半	磁	高31.7×幅 34.1

□常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968年	ステンレス、ミラーガラス	247×273
■集会室前				
島田忠恵	O & U	1972年	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
■屋外展示（中庭）				
ブールデール, エミール=アントワヌ	ペネロペ	1907-12年	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971年	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974年	御影石	250×258×175
飯野喜美子	グリーン・ベルト(1)	1976年	ステンレス	90×310×270
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976年	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション（祈り）	1981年	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983年	陶器	50×40×40(×12)
青木秀憲	「いずみ」"IZUMI"	1981年	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984年	ブロンズ、御影石	25×800×10
■野外彫刻				
高橋清	Atlinemi（水の神）	1966年	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972年	ステンレス	1000.0×450×450.0
館野弘青	微笑	1974年	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974年	ステンレス	106×216.5×106
関根伸夫	空相－円錐	1974年	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974年	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978年	マンナリー石	300×128×90
ディーン, リチャード	カタツムリのように（A）	1987年	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002年	黒御影石、赤御影石	207×130×90

コレクション展Ⅲ 「みんなの《推し》コレクション！」

展示期間 = 令和4(2022)年10月22日(土)～12月25日(日)

開館50周年の関連イベントとして実施した「もう一度見たい！県美コレクション総選挙」(投票期間:2022年4月16日～9月4日)には、子どもから大人まで585名の参加があった。お気に入りの作品を一人3点まで投票、計1,235票が集まった。今回のコレクション展Ⅲはそれらの結果を反映し構成した。さらに、投票者が寄せた作品に対する熱い「ときめきポイント」を作品の隣にパネル掲示した。観覧者の視点で作品を紹介する本展は大変好評で、メディアにも取り上げられた。

担当者 = 鈴木さとみ(主任研究員)

[凡例]
・本展の構成は、得票数だけでなく投票者の「ときめきポイント」も重視した。
・個々の「作品」ではなく「作家」に票が集まったものについては「わたしの《推し》アーティスト」として紹介した。
・他館企画展へ貸出中の作品など、都合により展示していない作品もある。
・夏の企画展およびコレクション展Ⅱで特集された山中信夫と小堀鞆音については、作品保護の観点から展示を見合わせた。

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
■ 1階展示室					
[《推し》コレ：日本画]					
小泉斐	鮎図	1847年	絹本着色	96×35	(寄託)
田中一村	白い花	1955年	絹本着色	71×85.8	
塚原哲夫	アマ・ダブルム	1980年	紙本着色	130×163	
[野澤一郎コレクション]					
椿椿山	花籠		絹本着色	137.9×69.2	
田崎草雲	夏山過雨	1887年	絹本着色	169.6×55.1	
橋本雅邦	初秋漁村図	明治10年代後半	絹本着色	96.9×34.8	
竹内栖鳳	風薫双塔寺		絹本着色	63.3×71.5	
島田墨仙	法然上人と蓮生坊熊谷		絹本着色	62.3×72.1	
小川芋銭	野干灯		絹本着色	32.1×47.5	
川合玉堂	秋景山水		紙本着色	149×80.2	
前田青邨	陣中愛茶	1930年頃	絹本着色	52.6×72.5	
堂本印象	陣中の月	1935年	絹本着色	69.3×86.4	
富岡鉄斎	日月長図	1909年	紙本墨画	151×82.1	
松林桂月	月下竹林	昭和中期年	絹本墨画	58.2×71	
川端龍子	鎬矢		絹本着色	71.3×95.6	
松本姿水	春蘭	制作年不詳	紙本着色	45.7×52	
作者不詳	三十六歌仙絵		紙本着色	145.5×360(×2)	

〔《推し》アーティスト〕

菊川京三	伊藤若冲 葡萄双鶏図（部分）	1963年	紙、多色刷木版	28.6×20
菊川京三	葛飾北斎 鸞 垂桜	1948年	紙、多色刷木版	26.7×19.9
菊川京三	豊臣秀吉像	1937年	紙、多色刷木版	31.1×23.7
菊川京三	喜多川歌麿 納涼美人図	1928年	紙、多色刷木版	22×36

〔《推し》コレ：洋画・版画〕

小杉放菴	金太郎遊行	1944年	カンヴァス、油彩	150×136
棟方志功	華狩頌	1954年	紙、木版	131×159

〔《推し》コレ：工芸〕

濱田庄司	柿釉赤絵扁壺	1971年	陶	23×16.2×9.5
濱田庄司	白釉黒流描大鉢	1972年	陶	14.5×φ53.6
島岡達三	塩釉象嵌縄文壺	1981年	陶	35×φ27.5
加守田章二	曲線彫文筒	1970年	陶	41.8×18.9×17.2（寄託）
三井安蘇夫	緑影	1975年	銅、鍛金	50×50×25
飯塚琅玕齋	花籃 多福	1937年頃	竹	25.6×φ46.5
飯塚小玕齋	竹網代まんじ繫文高盤	1976年	竹	12.5×φ48
勝城蒼鳳	千筋捻摺漆花籃 「漣」	2002年	竹	36×42.5×22
八木澤啓造	花籃 竹時雨	1979年	竹	14×36×45
藤沼昇	網代編盛籃 陽光	2018年	竹	25×44×44
高久空木	干し物	1959年	白山紬、ろう纈染	175.5×207

〔イギリス陶芸〕

リーチ, バート	蛸絵大皿	1928年	陶	11.0×φ50
リー, ルシー	ピンクの鉢	1978年頃	磁	12×φ24.5
コパー, ハンス	スベード	1972年頃	陶	29.5×20.1×
リー, ジェニファー	緑を斑に焼いた淡色の壺	1993年	陶	27.1×φ22

■1階 大壁面周辺の立体作品

ナッシュ, デヴィッド	テーブルと椅子	1984年	木（カバ）	240×340×340
ナッシュ, デヴィッド	歩く梯子	1984年	木（ニレ）	218×190×64
高木修	Untitled	1993年 （2016年再制作）	鉄	136×570×111
青木秀憲	宙シリーズー飛翔2001	2001年	アルミニウム	180×110×50
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974年	アルミニウム、ワイヤー、真鍮	104×250×150
和久奈南都留	ふるさと	1980年	御影石	100×100×100

■ 2階展示室

〔《推し》コレ：木版画〕

川上澄生	初夏の風	1926年	紙、木版多色刷	22.8×35
川上澄生	蚕船図	1939年	紙、木版単色 刷、手彩色	39.5×29.5
古川龍生	昆虫戯画卷 平和篇 緑陰労働	1933年	紙、木版	24.8×34.7
古川龍生	昆虫戯画卷 平和篇 一村和平	1933年	紙、木版	24.8×34.7
古川龍生	昆虫戯画卷 争闘篇 草上飛行	1933年	紙、木版	24.8×34.7
古川龍生	昆虫戯画卷 新生篇 乱酔泥喜	1933年	紙、木版	24.8×34.7
鈴木賢二	見つめる	1962年頃	紙、木版	46×45.5

〔《推し》コレ：栃木で見られる西洋名画〕

モネ、クロード	サン＝タドレスの海岸	1864年	カンヴァス、油 彩	30.6×69.5
ゴッー、ガミュー	ヴィル＝ダヴレーの池（洗濯女たち と水飼場に来る馬）	1847年	カンヴァス、油 彩	85×100
ターナー、J.M.W.	風景、タンバリンをもつ女	1840-50年 頃	カンヴァス、油 彩	88.5×118
コンスタブル、ジョン	デダムの谷	1805-17年 頃	カンヴァス、油 彩	52.8×44.8

〔企画展関連特集 パリへ渡った日本人画家〕

川島理一郎	パリ セーヌ河畔	1926年	カンヴァス、油 彩	31.8×40.9
藤田嗣治	花を持つ少女	1918年	カンヴァス、油 彩	65×54
藤田嗣治	桑重儀一送別会寄せ書き	1914年	紙、インク	27.5×20.5
阿以田治修	コンポジションA	1924-26年	カンヴァス、油 彩	130×161
清水登之	パリ地下鉄停車場	1925年	カンヴァス、油 彩	72.7×60.6
清水登之	パリ夜街	1926年	カンヴァス、油 彩	88.9×116.2

〔《推し》アーティスト〕

刑部人	奥入瀬秋色	1976年	カンヴァス、油 彩	91×116.5
刑部人	中禅寺湖畔冬	1969年	カンヴァス、油 彩	80.3×100
向井潤吉	雪 （ある記録画五題の内） （日光中宮祠戦場ヶ原）	1947年	カンヴァス、油 彩	73.3×99.8
小山田二郎	二つの鼻	1955年	カンヴァス、油 彩	115.5×91
小山田二郎	鳥女	1956年	カンヴァス、油 彩	117×80

小山田二郎	はりつけ	1958年	カンヴァス、油彩	116.7×90.9
関谷富貴	関谷富貴作品群（2）	1950-60年代	紙、混合技法	54.8×38.5 他
〔《推し》コレ：物語る顔〕				
清水登之	難民群	1941年	カンヴァス、油彩	162.1×130.3
桂ゆき	マスク	1970年頃	板、油彩・紙	122×162
ル7, トマス	ポートレート（ジモーネ・ブッフ）	1988年	タイプCプリント	205×160
柄澤齊	肖像IV アルチュール・ランボー	1982年	紙、木口木版	19.5×14.6
柄澤齊	肖像VI マルセル・ブルースト	1983年	紙、木口木版	10×15.1
柄澤齊	肖像XIX ハンス・クリスティアン・アンデルセン	1984年	紙、木口木版	19.4×14.6
柄澤齊	肖像XXIII ルイス・キャロルとアリス・リッデル	1984年	紙、木口木版	9.7×6.4
柄澤齊	肖像XXXVI ジュゼッペ・アルチンボルド	1985年	紙、木口木版	10×7
〔《推し》コレ：Give Me a Name!〕				
ホッケン, デイヴィッド 島		1971年	カンヴァス、アクリル	152.4×182.9
元永定正	はに、はに	1978年	カンヴァス、アクリル	92×130.5
齟嘯	レインボー・レインD	1977年	カンヴァス、油彩	259×194
上田薫	あわG	1979年	カンヴァス、油彩	182×227
白髪一雄	篆象	1963年	カンヴァス、油彩	184×236.5
〔《推し》アーティスト〕				
田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイング（9.11）	2005年	紙、色鉛筆・ペン	33.5×41
田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイング（ボートピープル）	2005年	紙、色鉛筆・ペン	33.5×41
田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイング（隕石）	2005年	紙、色鉛筆・ペン	33.5×41
田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイング（亀裂・地震）	2005年	紙、色鉛筆・ペン	33.5×41
田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイング（植林）	2005年	紙、色鉛筆・ペン	33.5×41
田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイング（紙芝居）	2005年	紙、色鉛筆・ペン	33.5×41
田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイング（砂漠化）	2005年	紙、色鉛筆・ペン	33.5×41
田中功起	世界を救うためのプラン・ドロイング（津波）	2005年	紙、色鉛筆・ペン	33.5×41

舟越桂	風をためて	1983年	楠、彩色、大理石	91×41×28
■ 2階展示室の立体作品				
神山明	伝説	1989年	杉、オイルステイン	147×99×99
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年(再制作93年)	陶、アクリル	61.5×107.3×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973年	カード・ボード、ポリエステル樹脂	158×235×128

《伊東直子マイセン磁器コレクション》

マイセン磁器	色絵プット坐像「秋の寓意」・犬像	18世紀中頃	磁	高14×31
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766-18世紀末	磁	高16.5（22種23ヶ）
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34年	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵プット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3（2ヶ）
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用セーターピース	1782-90年頃	磁	57.2×32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵プット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるプット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725-30年頃	磁	鉢高9.1受皿径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとクビド」	1750-60年代	磁	高15×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵プット立像・時計・花飾り	1740-50年代	磁	高11.4
マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ高4.6×径7.7、ソーサー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5×径7.7、ソーサー径12.4
マイセン磁器	色絵ポプリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5

マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウス キー・オツィエルレリーフ皿	1735-45年 磁 頃	5.8×φ34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥 putt 像鏡	19世紀中頃 磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポプ リ壺	19世紀後半 磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花狩猟図鹿浮彫蓋付パンチ ボウル	19世紀後半 磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オシドリ像	1922年か 磁 23年	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半 磁	高31.7×幅34.1

□常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968年	ステンレス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	-------	--------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972年	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	-------	------------	-------------

■屋外展示（中庭）

ブーデル, エミール＝ アントワヌ	ペネロペ	1907-12年	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971年	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974年	御影石	250×258×175
飯野喜美子	グリーン・ベルト(1)	1976年	ステンレス	90×310×270
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976年	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション（祈り）	1981年	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983年	陶器	50×40×40 (×12)
青木秀憲	「いずみ」"IZUMI"	1981年	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984年	ブロンズ、御影 石	25×800×10

■野外彫刻

高橋清	Atlinemi（水の神）	1966年	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972年	ステンレス	1000×450×
館野弘青	微笑	1974年	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974年	ステンレス	106×216.5×
関根伸夫	空相－円錐	1974年	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974年	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978年	マンナリー石	300×128×90
ディーン, リチャード	カタツムリのように（A）	1987年	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560

手塚登久夫	梟の森 2002	2002年	黒御影石、赤御影石	207×130×90
小林泰彦	インヴォケーション（祈り）	1981年	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983年	陶器	50×40×40 (×10)
青木秀憲	「いずみ」"IZUMI"	1981年	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984年	ブロンズ、御影石	25×800×10

■野外彫刻

高橋清	Atlinemi（水の神）	1966年	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972年	ステンレス	1000×450
館野弘青	微笑	1974年	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974年	ステンレス	106×216.5×
関根伸夫	空相－円錐	1974年	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974年	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978年	マンナリー石	300×128×90
ディーン・リチャード	カタツムリのように（A）	1987年	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002年	黒御影石、赤御影石	207×130×90

コレクション展Ⅳ「時のながれ」

展示期間 = 令和 5(2023)年1月21日(土)～3月26日(日)

開館50周年を締めくくる展示として、作品を取り巻く様々な「時間」に着目し、当館の作品を紹介した。1階展示室では、日本絵画などにあらわされた四季を辿る「四季を楽しむ」、作品を作り上げるまでの時間に着目した「工芸×時間」などのテーマで展示を行った。そのほか、2階展示室では、前年度に寄贈を受けた内田あぐり作品の初展示を行うなど、作品だけではなく栃木県立美術館にながれる50年という時間を感じることができるような展示とした。

担当者 = 武関彩瑛(研究員)

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
■1階展示室					
[四季を楽しむ]					
田崎草雲	栈道積雪	1872年	紙本着色	174.7×85.3	
小室翠雲	雪溪鳴鶉図	制作年不詳	紙本着色	47.9×59.6	(寄託)
石川寒巖	雪山宝塔図	1919年頃	紙本墨画	218.5×90	
横山大観	冬	1940年代	紙本着色	26.8×24.2	
山元春挙	山荘春寒図	制作年不詳	絹本着色	127.2×50	
小堀鞆音	桜狩図	制作年不詳	絹本着色	127.6×51	
田中一村	本門寺五重塔と桜	1952年頃	絹本着色	60×70	
小杉放菴	花咲爺	1963年頃	紙本着色	46.0×50.7	
高隆古	十二ヶ月屏風	1855年	紙本着色	屏風：171× 404(×2)、 扇：132×60	
石川寒巖	四季山水	1930年頃	紙本着色	(春) 169.4× 55 (夏) 169.4× 55.2	
石川寒巖	四時読書楽図	1930年	絹本着色	32.6×41.8 (×4)	
古川龍生	美人四季(春)	1932年	紙、木版	38×28	
古川龍生	美人四季(夏)	1932年	紙、木版	38×28	
古川龍生	美人四季(秋)	1932年	紙、木版	38×28	
古川龍生	美人四季(冬)	1932年	紙、木版	38×28	
古川龍生	四季少女図(春)	1936年	紙、木版	41×31	
古川龍生	四季少女図(夏)	1936年	紙、木版	40×31.5	
古川龍生	四季少女図(秋)	1936年	紙、木版	40×31.5	
古川龍生	四季少女図(冬)	1936年	紙、木版	40×31.5	
刑部人	北野天満宮梅園	1970年	カンヴァス、 油彩	32×41	

刑部人	長谷春色	1972年	カンヴァス、 油彩	38×45.5
刑部人	菖蒲園	1963年	カンヴァス、 油彩	46×61.5
刑部人	塩原紅葉	1960年代後半	カンヴァス、 油彩	45.5×38
刑部人	溪流（塩原）	1971年	カンヴァス、 油彩	45.5×53

〔工芸×時間〕

濱田庄司	青釉白格子描大鉢	1957年	陶	16×φ58
濱田庄司	柿釉赤絵扁壺	1972年	陶	20.5×17×11
三井安蘇夫	草花文壺	1987年	銅、鍛金	26.3×φ26.7
広沢隆則	臚銀花挿 くもひとつ	2017年	臚銀、鍍金	30×13.5×9.5
岩田久利	花器 墨衣	1988年	ガラス、宙吹き	33×20×18.5
勝城蒼鳳	平割捻摺漆花籃 陽炎韻映	2015年	竹	24.5×53×17 （寄託）
高久空木	染名古屋帯 虹	1988年頃	塩瀬、ろう纈染	幅34.5
高久空木	染名古屋帯 鶴	1988年頃	塩瀬、ろう纈染	幅34.5
島岡達三	地釉縄文象嵌碗	1950年代後半	陶	7.5×φ14.2
島岡達三	窯変象嵌縄文碗	1976年	陶	7×φ14
宮原隆岳	螺鈿平文飾箱	2017年	漆、螺鈿	9×30×12
宮原楓翠	乾漆卵殻盛器	2000年	漆、麻布、卵殻	6.3×φ32.3

■1階 大壁面周辺の立体作品

ナッシュ, ティグ・イット	テーブルと椅子	1984年	木（カバ）	240×340× 340
ナッシュ, ティグ・イット	歩く梯子	1984年	木（ニレ）	218×190×64
高木修	Untitled	1993年 (2016年 再制作)	鉄	136×570× 111
青木秀憲	宙シリーズー飛翔2001	2001年	アルミニウム	180×110×50
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974年	アルミニウム、ワイヤー、真 鍮	104×250× 150
和久奈南都留	ふるさと	1980年	御影石	100×100× 100

■ 2階展示室

【版画と時間】

川上澄生	時計図	1936頃年	紙、木版単色 刷、手彩色	18.5×20
川上澄生	時計とランプ	1963年	紙、木版多色刷	21×14.3
川上澄生	和時計文字盤之図	1957年	紙、木版単色 刷、手彩色	27.2×21.5
川上澄生	時計とランプ	1955年	紙、木版多色刷	21.3×24
川上澄生	砂時計と燭台	1953年頃	紙、木版単色刷	16.9×15.2
深沢史朗	Time A	1969年	紙、シルクスク リーン	75×75
深沢史朗	Time X	1969年	紙、シルクスク リーン	89×74
深沢史朗	Time 70 - A	1970年	紙、シルクスク リーン	88.5×70.5

【西洋絵画】

エル・ボール	谷	19世紀前半	カンヴァス、油 彩	30.5×49.5
コロー、ガミーユ	ヴィル＝ダヴレーの池（洗濯女 たちと水飼場に来る馬）	1847年	カンヴァス、油 彩	85×100
ターナー、J.M.W.	風景、タンバリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油 彩	88.5×118
コンスタンブル、ジョーン	デダムの谷	1805-17年頃	カンヴァス、油 彩	52.8×44.8

【時代をうつす】

清水登之	大麻収穫	1929年	カンヴァス、油 彩	65.5×80.8
朝倉摂	背負う人々	1954年	カンヴァス、着 色	165.5×133
鶴田吾郎	炭焼く人々	1949-52年頃	カンヴァス、油 彩	112.4×194.3
海老原友忠	谷中村役場跡	1985年	紙、鉛筆、水彩	37.2×180.8
海老原友忠	谷中葦焼後の芽生え	1985年	紙、鉛筆、水彩	26.9×151.6
鷺田新太	鬼哭廃坑（足尾銅山所見その2）	1972年	紙、油彩、墨	65.5×80.5

【1日の時間】

小林孔	港の朝	制作年不詳	カンヴァス、油 72.6×91 彩
山崎博	海をまねる太陽	1978年	ゼラチンシルバープリント 18.5×27.7 ト
クネーベル, イ	夕陽の中にたたずんで	1993年	木、アルミ、油 126.3×127.8 彩 ×15.2
田淵安一	The Stormy Night	1961年	カンヴァス、油 165×105 彩
小林孔	夜のバラード	制作年不詳	カンヴァス、油 60.6×50 彩

〔星を見上げる〕

柄澤齊	『死と変容』 第1集 夜 I-7 水	1986-88年	紙、木口木版 24.5×21.1
柄澤齊	『死と変容』 第1集 夜 I-8 旅	1986-88年	紙、木口木版 25.4×21.2
柄澤齊	『死と変容』 第1集 夜 I-9 果実	1986-88年	紙、木口木版 21.2×24.2
柄澤齊	『死と変容』 第1集 夜 I-20 ポート	1986-88年	紙、木口木版 11.4×16.5
柄澤齊	『死と変容』 第1集 夜 I-21 夢または旅路	1986-88年	紙、木口木版 21.8×15.6
ルフ, トーマス	星	1992年	タイプCプリント 260×188
野村仁	'pleiades'score Dec.31,1978	1980年	ゼラチンシル バープリント 102×147
野村仁	'moon' score Jan.1,1980	1980年	ゼラチンシル バープリント 94×137
勝呂忠	月へ向かって	1983年	カンヴァス、油 130.3×162.2 彩

〔画家と時のながれ〕

渡辺豊重	工場	1955年頃	カンヴァス、油 116.7×90.9 彩
渡辺豊重	バレンシアの光の中で	1999年	紙、シルクスク リーン 54.1×38.0
渡辺豊重	コルドバに雨が降る	1999年	紙、シルクスク リーン 54.0×38.0
渡辺豊重	時雨になるとき I	2009年	韓紙、青墨、松 煙、木炭、アク リル、パステル 63.5×94
渡辺豊重	時雨になるとき III	2009年	韓紙、青墨、松 煙、木炭、アク リル、パステル 63.5×94
内田あぐり	輪舞図	1976年	雲肌麻紙、岩絵 具、墨、膠 205×300

内田あぐり	若い娘と美しい老婆	2006年	雲肌麻紙、岩絵具、墨、膠、布、紙縫	162.1×130.3
篠原有司男	コニーアイランド(A)	1973年	カンヴァス、油彩	157×127
篠原有司男	コニーアイランド(B)	1973年	カンヴァス、油彩	116×159
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973年	カードボード、ポリエステル樹脂	158×235×128

【今年の干支】

橋本邦助	兎	制作年不詳 (昭和初期)	カンヴァス、油彩	37.9×45.3
------	---	-----------------	----------	-----------

■ 3階展示室の立体作品

神山明	伝説	1989年	杉、オイルステイン	147×99×99
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年(再制作93年)	陶、アクリル	61.5×107.3×130

《伊東直子マイセン磁器コレクション》

マイセン磁器	色絵プット立像・時計・花飾り	1740-50年代	磁	高11.4
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766-18世紀末	磁	高16.5 (22種23ヶ)
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34年	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵プット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図 植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3 (2ヶ)
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用セーターピース	1782-90年頃	磁	57.2× 32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵プット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅
マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるプット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅 12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、 受皿	1725-30年頃	磁	鉢高9.1受皿径 13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとクピド」	1750-60年代	磁	高15.0×幅 14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵花卉図ポプリ壺・アモル立像「着衣のアモル」・花飾り	1750-60年代	磁	高21×幅23.5

マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ 高4.6×径7.7、ソーサー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー 「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ 高4.5×径7.7、ソーサー径12.4
マイセン磁器	色絵ポプリ壺付群像 「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26.0×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウスキー・オツィエルレリーフ皿	1735-45年頃	磁	5.8×φ34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥 putt 像鏡	19世紀中頃か後半	磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポプリ壺	19世紀後半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オシドリ像	1922年か23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅34.1

□常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968年	ステンス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	-------	-------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972年	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	-------	------------	-------------

■屋外展示（中庭）

ブーデル、エミール・アペネロペントワヌ		1907-12年	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971年	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974年	御影石	250×258×175
飯野喜美子	グリーン・ベルト(1)	1976年	ステンレス	90×310×270

清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976年	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション（祈り）	1981年	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983年	陶器	50×40×40 (×12)
青木秀憲	【いずみ】"IZUMI"	1981年	ステンレス	4.5×212×
三木俊治	行列	1984年	ブロンズ、御影石	25×800×10

■野外彫刻

高橋清	Atlinemi（水の神）	1966年	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972年	ステンレス	1000×450× 450
館野弘青	微笑	1974年	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974年	ステンレス	106×216.5× 106
関根伸夫	空相－円錐	1974年	黒御影石	120×120× 120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974年	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978年	マンナリー石	300×128×90
ディーン・リチャード	カタツムリのように（A）	1987年	アルミニウム、鋼鉄	520×680× 560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002年	黒御影石、赤御影石	207×130×90

■アートリンクとちぎ2022

「野澤一郎が愛した美術」展

会 期＝ 令和4(2022)年4月23日(土)～6月5日(日)【実開催日数 36日】

主 催＝ 小山市立車屋美術館、栃木県立美術館

会 場＝ 小山市立車屋美術館

出品点数＝ 16点

小山ゆかりの実業家、野澤一郎(1888-1978)が蒐集した日本画・彫刻コレクションを展示。志田主任によるギャラリートークを開催。

担 当＝ 志田康宏(主任)

観覧者数＝ 1198人(1日平均 33人)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	川端龍子	鎚矢	不詳	絹本着色	71.3×95.6
2	川合玉堂	秋景山水	不詳	紙本着色	149.0×80.2
3	島田墨仙	法然上人と蓮生坊熊谷	不詳	絹本着色	62.3×72.1
4	堂本印象	陣中の月	1935年	絹本着色	69.3×86.4
5	竹内栖鳳	風薫双塔寺	不詳	絹本着色	63.3×71.5
6	小川芋銭	野干灯	不詳	絹本着色	32.1×47.5
7	小川芋銭	長沙散歩	不詳	紙本着色	45.2×64.2
8	前田青邨	陣中愛茶	1930年頃	絹本着色	52.6×72.5
9	小室翠雲	瑞西所見	1931年	紙本着色	67.5×112.7
10	田崎草雲	夏山過雨	1887年	絹本着色	169.6×55.1
11	橋本雅邦	初秋漁村図	不詳	絹本着色	96.9×34.8
12	安田靱彦	薩埵王子捨身図	1911年頃	絹本着色	126×41.8
13	松本姿水	春蘭	不詳	紙本着色	45.7×52
14	松本姿水	採秋	不詳	絹本着色	143×50.3
15	松林桂月	欧陽脩秋声賦	1960年	絹本着色	69.2×86.1
16	松林桂月	蘭	1960年	紙本墨画	30.5×152
17	富岡鉄斎	日月長図	1909年	紙本墨画	151×82.1
18	椿椿山	花籠	不詳	絹本着色	137.9×69.2
19	不詳	三十六歌仙絵	不詳	紙本着色	145.5×360 (×2)
20	清水多嘉示	岩に倚る	不詳	ブロンズ	13.5×31×
21	木内克	裸婦	不詳	ブロンズ	18×15×

日本近代歴史画家 小堀鞆音と羽石光志

会 期＝ 令和4(2022)年10月8日(土)～12月25日(日)【実開催日数 36日】
前期:10月8日(土)～11月20日(日)
後期:11月22日(火)～12月25日(日)

主 催＝ 主催＝茂木町教育委員会、栃木県立美術館

会 場＝ ふみの森もてぎ歴史資料展示室

出品点数＝ 21点

茂木出身の日本画家で「最後の近代歴史画家」とも称された羽石光志と、その師であり「近代歴史画の父」とも称された佐野出身の日本画家・小堀鞆音の作品を向かい合うように展示し、2人の画業とその師弟関係を紹介した。志田主任によるギャラリー・トークを開催。

担 当＝ 志田康宏(主任)

観覧者数＝ 1100人(1日平均 16人)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	小堀鞆音	恩賜の御衣	1898年	絹本着色	110.8×163.5
2	小堀鞆音	頼盛載搭図	不詳	絹本着色	126.3×50.2
3	小堀鞆音	鷹狩図	不詳	紙本着色	151×50.5
4	小堀鞆音	尚武図	1913年	絹本着色	116.5×41
5	小堀鞆音	神武天皇図	1900年	絹本着色	111.1×43.2
6	安田鞆彦	薩埵王子捨身図	1911年頃	絹本着色	126×41.8
7	羽石光志	福原遷都	1966年	紙本着色	186×212
8	羽石光志	徳川家康	1983年頃	紙本着色	173×88
9	羽石光志	玉虫乃厨子	1974年	紙本着色	212×186
10	羽石光志	古墳	1952年	紙本着色	202×151
11	羽石光志	斑鳩の宮	不詳	紙本着色	60.5×71.5
12	小堀鞆音	頼政詣高倉宮図	1907年	絹本着色	各138.3× 50.2(対幅)
13	小堀鞆音	結城合戦図	不詳	紙本着色	112.5×42
14	小堀鞆音	判官義経	不詳	絹本着色	116×41.5
15	小堀鞆音	龍図	不詳	絹本墨画	92.8×25.7
16	小堀鞆音	業平朝臣角田川詠歌図	不詳	絹本着色	126.4×42.2
17	羽石光志	ひよどりごえ	1965年	紙本着色	228×194
18	羽石光志	畑時能(大下図)	1940年	紙本着色	203×145.5
19	羽石光志	長安の春	1986年	紙本着色	132×99
20	羽石光志	蓮月尼	不詳	紙本着色	118×128
21	羽石光志	源義家	1980年	紙本着色	70.7×43.6

■ 諸 表

1. 展覧会事業

(1) 企画展

No.	展覧会名	会期	実日数 (日)	出品点 数(点)	観覧者数 (人)	1日平均(人)	内容
1	題名のない展覧会 ― 栃木県立美術館 50年のキセキ	4月16日(土)～ 6月26日(日)	62	284	7,514	121	1972年の開館前後から収集活動を継続し、現在約9,000点余を所蔵する当館のコレクションから、各分野の選りすぐりの作品を見せ方に工夫を凝らして展示。資料も含めて284点展示。
2	没後40年 山中信夫回顧展	7月16日(土)～ 9月4日(日)	44	172	3,615	82	1982年に滞在先のニューヨークで34歳の若さで急逝した戦後日本美術に重要な足跡を残した伝説的アーティストの回顧展。自己と世界との視覚的対話という山中芸術を所蔵品とアーカイブ資料172点で紹介。
3	第76回栃木県芸術 祭美術展	9月24日(土)～ 10月6日(木)	11	200	2,676	243	第1期(洋画・彫刻・工芸) 共催: 県、県文化協会
4	印象派との出会い ― フランス絵画の 100年 ひろしま美 術館コレクション	10月22日(土)～ 12月25日(日)	56	69	17,735	317	1978年に創立80周年を迎えた広島銀行が記念事業として設立した公益財団法人ひろしま美術館は、印象派の絵画を中心にロマン派からエコール・ド・パリに至るフランス近代絵画とそれらに影響を受けた日本の近代洋画を所蔵。その中から69点の名品を紹介。
5	「二つの栃木」の架 け橋 小口一郎展 足尾鉍毒事件を描く	令和5(2023)年 1月21日(土)～ 3月26日(日)	56	318	5,672	101	栃木県小山市出身で版画家として活躍した小口一郎の全貌を、そのライフワークとなった足尾鉍毒事件を主題とした作品を中心に紹介。作品・資料318点展示。
計			229	1,043	37,212	162	

(2) 常設展

No.	展覧会名	会期	実日数 (日)	出品点 数(点)	観覧者数 (人)	1日平均(人)	内容
1	コレクション展Ⅰ 「題名のない展覧会」第5章	4月16日(土)～ 6月26日(日)	62	171	6,212	100	本年度は企画展「題名のない展覧会」がコレクションを紹介する内容であるため、企画展の展示会場として常設展示場も使用。
2	コレクション展Ⅱ 特集 小堀鞆音	7月16日(土)～ 10月6日(木) ※9月5日(月)～ 23日(金)は休館	55	170	4,700	85	所蔵品により栃木県および国内外の近現代美術を展示。テーマを設定して年3回の展示替え。マイセン磁器コーナーも展示替え。
3	コレクション展Ⅲ みんなの《推し》コレクション！	10月22日(土)～ 12月25日(日)	56	139	13,100	234	同上
4	コレクション展Ⅳ 時のながれ	令和5(2023)年 1月21日(土)～ 3月26日(日)	56	133	3,007	54	同上
計			229	613	27,019	118	

(3) アートリンクとちぎ2022

No.	展覧会名	出品点 数(点)	実施館	観覧者数 (人)	1日平均(人)	内容
1	野澤一郎が愛した美術	21	小山市立車屋美術館 4月23日(土)～6月5日(日)	1,198	33	真岡市ゆかり(旧真岡中学校卒)の実業家野澤一郎(1888-1978)が当館に寄贈した作品を中心にそのコレクションを紹介
2	日本近代歴史画家 小堀鞆音と羽石光志	15	ふみの森もてぎ歴史資料 展示室 10月8日(土)～12月25日(日)	1,100	16	近代歴史画の父小堀鞆音とその後継者で最後の歴史画家といふべき羽石光志の作品を羽石の生誕地である茂木で紹介
計				2,298		

2. 普及教育事業

(1) 普及教育プログラム(企画展・常設展関係)

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数(人)	内容
1	学芸員によるギャラリー・トーク	講師：当館普及スタッフ	4月16日(土)	企画展示室	45	「題名のない展覧会」展にあわせて実施
			5月15日(日)		21	
			6月5日(日)		41	
2	学芸員による再現映写及びギャラリー・トーク	講師：山本和弘(主任研究員)	7月16日(土)	企画展示室	40	「山中信夫回顧展」にあわせて実施
			9月4日(日)		35	
3	学芸員によるギャラリー・トーク	講師：武関彩瑛(研究員)	10月21日(金)	企画展示室	59	「印象派との出会い」展にあわせて実施
			10月30日(日)		47	
			11月27日(日)		60	
			12月11日(日)		70	
4	講演会	講師：水木祥子(ひろしま美術館学芸課長)	10月22日(土)	集会室	44	「印象派との出会い」展にあわせて実施
		講師：五十嵐太郎(東北大学大学院工学研究科教授)	12月4日(日)	集会室	27	
5	ギャラリー・トーク	講師：篠崎清次(小口一郎研究会代表)	令和5(2023)年1月21日(土)	企画展示室	110	「小口一郎展」にあわせて実施
6	学芸員によるギャラリー・トーク	講師：木村理恵子(特別研究員)	令和5(2023)年2月18日(土)	企画展示室	36	「小口一郎展」にあわせて実施
			令和5(2023)年3月4日(土)		23	
7	上映会及び解説	講師：赤上剛(田中正造・足尾銅山鉱毒事件研究者)	令和5(2023)年1月22日(日)	集会室	60	「小口一郎展」にあわせて実施
			令和5(2023)年2月5日(日)		105	
			令和5(2023)年2月12日(日)		135	
8	講演会	講師：安在邦夫(早稲田大学名誉教授)	令和5(2023)年2月26日(日)	集会室	124	「小口一郎展」にあわせて実施
9	美術館スタンプ・ラリー	自由観覧	通年	企画展示室 常設展示室	13,215	幼・保・小・中学生だけではなく、大高生、一般の美術館利用を促進 年間に5回以上の利用者に記念品贈呈
10	音声ガイド	「印象派との出会い」展	10月22日(土)～12月25日(日)	企画展示室	実施	来館者がスマートフォンから音声ガイドを入手する方法(ダウンロード)で実施
11	作品ガイド 多言語化文字解説	主要作品	通年	常設展示室	休止中	タブレット貸出しによる作品解説を提供

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数(人)	内容
12	県美アートクルーズ	講師：当館普及スタッフ	会期中随時			県公用バスを利用して、申し込みをした小・中学校、高校まで送迎を行い、美術館鑑賞教育を支援
	県立茂木高等学校	「山中信夫回顧展」	7月21日(木)	企画展示室 常設展示室	生徒 15 引率 3	
	県立足利南高等学校	「山中信夫回顧展」	7月30日(土)	企画展示室 常設展示室	生徒 19 引率 1	
	県立栃木特別支援学校	「印象派との出会い」展	12月 7日(水)	企画展示室 常設展示室	生徒 15 引率 5	

(2) 普及教育プログラム

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数(人)	内容
1	先生のための美術館活用術	講師：当館普及スタッフ	7月29日(金)	会議室		教職員を対象に美術鑑賞教育のさまざまな方法を提案、指導法を協議
2	創作工房 アートラウンジさくら塾	講師： 学生ボランティア 協力： 作新学院大学女子短期大学部、 宇都宮大学教育学部、 作新学院高等学校美術デザイン科、 國學院大學栃木短期大学、 文星芸術大学	6月19日(日)	集会室	231	《染め紙でアートしよう》 協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			7月17日(日)	集会室	115	《もこもここー紙でつくる形ー》 協力：宇都宮大学教育学部
			8月21日(日)	集会室	215	《シルエット・ドローイング》 協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			9月25日(日)	集会室	186	《ピカピカアクセサリを作ろう》 協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			12月18日(日)	集会室	78	《トイレットペーパーで紙漉き体験》 協力：作新学院大学女子短期大学部
			令和5(2023)年 1月29日(日)	集会室	120	《石膏体験、手形を作ろう！》 協力：文星芸術大学
			令和5(2023)年 3月19日(日)	集会室	137	《お木にいりミッケ♪気になる木だらけ工房》 協力：國學院大學栃木短期大学
3	美術館ふしぎ発見！	講師：当館普及スタッフ	5月 5日(木・祝)	常設展示室 屋外展示場	37	美術館の作品だけでなく建物や施設を紹介 (小学生同伴の保護者の観覧料無料)
4	親と子のための美術鑑賞教室	講師：当館普及スタッフ	11月20日(日)	常設展示室	20	親子を対象としたミニワークショップ付鑑賞会(幼児・小学生同伴の保護者の観覧料無料)
			令和5(2023)年 2月19日(日)	集会室	25	

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数(人)	内容
5	夏休みワークショップ 「ほわほわケーキをつくろう」	講師:関谷隆志 (洋画家)	7月24日(日)	集会室	39	ウレタンスポンジ等を使って ケーキ作りに挑戦
6	夏休みこども企画 美術館クイズ探検隊	講師:当館普及 スタッフ	8月7日(日)	常設展示室 集会室	58	クイズを解きながら常設展示 を解説
7	大人の図工室 「プロドット・トチギー ノ! フレスコ画入門」	講師:福島恒久 (画家)	11月6日(日)	集会室	18	栃木の素材を使って、紀元前 から続く伝統技法であるフレ スコ画を体験
			11月13日(日)		17	

(3) 学校への対応ー1 社会見学等

No	事業名	実施期日	参加者数(人)
1	宇都宮市立宮の原中学校 宮っ子チャレンジ・ウィーク	6月14日(火)～6月16日(木)	2
2	宇都宮市立泉が丘中学校 宮っ子チャレンジ・ウィーク	11月29日(火)～12月1日(木)	1
3	宇都宮市立陽西中学校 宮っ子チャレンジ・ウィーク	11月29日(火)～12月1日(木)	2

学校への対応ー2 社会体験学習等

No	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数(人)
1	親子で楽しむ体験ツアー	当館普及スタッフ 芳賀青年の家職員	12月10日(土)	集会室 企画展示室 常設展示室	19

(4) 学芸員実習

No	事業名	実施期日	参加者数 (人)	所属大学数
1	学芸員実習	8月2日(火)～8月7日(日)	4	明治大・聖心女子大・東北芸工大・十文字学園女子大

(5) 社会教育への対応

No	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数 (人)
1	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師:鈴木さとみ (主任研究員)	8月26日(金)	栃木県シルバー大学校 南校	85
2	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師:志田康宏 (主任)	9月 6日(火)	栃木県シルバー大学校 北校	60
3	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師:鈴木さとみ (主任研究員)	9月 7日(水)	栃木県シルバー大学校 中央校	101
4	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師:志田康宏 (主任)	9月 8日(木)	栃木県シルバー大学校 中央校	96

(6) 教育関係者との連携事業

No	事業名	実施期日	実施会場	参加 者数 (人)	備考
1	アートネットとちぎ 月例会	4月24日(日)	集会室	11	
2	アートネットとちぎ 月例会	5月22日(日)	集会室	10	
3	アートネットとちぎ 月例会	6月26日(日)	集会室	14	
4	アートネットとちぎ 月例会	7月17日(日)	集会室	12	
5	サマーミーティング	8月24日(土)	集会室・展示室	20	
7	アートネットとちぎ 月例会	10月30日(日)	集会室	14	
8	アートネットとちぎ 月例会	11月27日(日)	集会室	10	
9	アートネットとちぎ 月例会	12月18日(日)	集会室	11	
10	アートネットとちぎ 月例会	1月29日(日)	集会室	10	
11	アートネットとちぎ 月例会	2月19日(日)	集会室	10	
12	アートネットとちぎ 月例会	3月12日(日)		8	
計				130	

3. 所蔵作品集計表

	令和4年度新収蔵作品点数()内は所蔵総点数				
種別	購入	寄贈	保管転換	管理項目換	計
日本画	0 (113)	6 (338)	1 (20)	0 (1)	7 (472)
油彩画等	0 (337)	7 (405)	0 (13)	0 (0)	7 (755)
水彩・素描	0 (129)	4 (658)	0 (1)	0 (0)	4 (788)
版画	0 (2,261)	171 (2,311)	0 (0)	0 (3)	171 (4,575)
写真・映像	0 (60)	0 (71)	0 (0)	0 (6)	0 (137)
彫刻・立体	0 (96)	0 (86)	0 (1) ※	0 (1)	0 (184)
工芸	0 (186)	0 (525)	0 (9)	0 (0)	0 (720)
書	0 (5)	0 (15)	0 (1)	0 (0)	0 (21)
その他(版木・二次資料等)	0 (7)	0 (1,758)	0 (8)	0 (0)	0 (1,773)
計	0 (3,194)	188 (6,167)	1 (53)	0 (11)	189 (9,425)

※保管転換で収蔵となった作品1点(彫刻・立体)が館外設置のため県民文化課へ保管転換となった(2020/3/25付)。

水彩・素描には菊川京三の模写287点を含む。

その他には峰村北山資料86点を含む。

上記以外に基金財産として油彩画等3点を収蔵。

4. 令和4年度美術館利用者数

No.	事業名	人数(人)	内訳	人数 (人)
1	展覧会事業	66,529	企画展	37,212
			常設展	27,019
			アートリンク(館外展)	2,298
2	普及教育事業	6,929	普及教育プログラム(企画展関係) ※スタンプラリー参加者数は除く	5,132
			普及教育プログラム(常設展・普及分館)	1,297
			学校への対応(社会見学、社会体験学 習の受入れ)	24
			学芸員実習の受入	4
			社会教育への対応(栃木県グループ入 学校への出講、合計4回、数字は受講者 数)	342
			教育関係者との連携事業(アートネットと ちぎ)	130
計		73,458		
ホームページのビジター数		611,388		

■令和4(2022)年度新収蔵美術資料

寄贈美術資料

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	登録番号
日本画							
1	石川寒巖	1890-1936年	雪景山水図	1920年代前半	紙本墨画	42.3×130	5643
2	島多訥郎	1898-1983年	題不詳	1950年代	紙本着色	44.5×52	5644
3	島多訥郎	1898-1983年	鳩	1950年代	紙本着色	24.2×27.2	5645
4	羽石光志	1903-88年	天平富貴花	昭和10年代頃	紙本着色 金泥引き	62.6×34.6	5646
5	羽石光志	1903-88年	春日	昭和10年代頃	紙本着色	56.6×43	5647
6	荒井経	1967年-	甲虫譚	1999年	紙本着色	250×400	5648
油彩画等							
7	清水登之	1887-1945年	題不詳（男性像）	1933年	油彩、カンヴァス	82×71	5649
8	長谷川春子	1895-1967年	題不詳（女性像）	1927年	油彩、カンヴァス	70×56	5650
9	和気史郎	1925-88年	自画像	1969年	油彩、カンヴァス	45.5×27.3	5651
10	和気史郎	1925-88年	西芳寺	1969年	油彩、カンヴァス	53×65.2	5652
11	和気史郎	1925-88年	友禅（京）	1979年	油彩、カンヴァス	91×116.7	5653
12	尾藤豊	1926-98年	挫折の風景	1961年	油彩、カンヴァス	130.3×162.1	5654
13	尾藤豊	1926-98年	構築のきざし	1967年	油彩、カンヴァス	130.3×162.1	5655
水彩・素描							
14	尾藤豊	1926-1998年	とられた土地 エスキース	1959年	紙、鉛筆	27.9×39	5656
15	中野隆	1931-2018	足尾風景	1960年	紙、水彩	72.7×100	5657
16	中野隆	1931-2018年	鬼怒川阿久津橋上流	1996年	紙、水彩	45.5×60	5658
17	中野隆	1931-2018年	古賀志山（栃窪）	1997年	紙、水彩	50×65.2	5659
版画							
18	小口一郎	1914-1979年	「野に叫ぶ人々」表題	1969年	紙、木版、	48×60	5660
19	小口一郎	1914-1979年	「野に叫ぶ人々」制作にあたって	1955-69年	紙、水彩	46×60	5661
20	小口一郎	1914-1979年	「野に叫ぶ人々」解題	1955-69年	紙、水彩	48×60	5662

21	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 自然に恵まれた豊かな農村 (その一)	1970年頃	紙、木版	29.5×60	5663
22	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 自然に恵まれた豊かな農村 (その二)	1970年頃	紙、木版	18×54.5	5664
23	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 自然に恵まれた豊かな農村 (その三)	1955-69年	紙、木版	30.2×48.5	5665
24	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 自然に恵まれた豊かな農村 (その四)	1970年頃	紙、木版	36.5×54	5666
25	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 洪水のあしあと	1955-69年	紙、木版	19×47.3	5667
26	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 不安におののく農民	1955-69年	紙、木版	26.5×33.4	5668
27	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 未曾有の大洪水（解題）	1955-69年	紙、水彩	40×46	5669
28	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 被害	1955-69年	紙、木版	30.2×39.8	5670
29	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 鉱毒被害を調査	1955-69年	紙、木版	42×60.5	5671
30	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 鉱毒被害を調査（解題）	1955-69年	紙、水彩	45×52	5672
31	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 農民代表足尾に向う	1955-69年	紙、木版	30.5×40	5673
32	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 立ちあがる農民	1955-69年	紙、木版	30.2×39.8	5674
33	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 永久示談の強要	1955-69年	紙、木版	21×47	5675
34	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 濁水	1955-69年	紙、木版	17×35.5	5676
35	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 離散	1955-69年	紙、木版	11.3×33.4	5677
36	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 請願	1955-69年	紙、木版	18×33.5	5678
37	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 人畜におよぶ被害	1955-69年	紙、木版	23.5×43.6	5679
38	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 三期の毒野	1955-69年	紙、木版	31.2×47.5	5680
39	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 毒塚	1955-69年	紙、木版	28.3×35.8	5681

40	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 発狂する農民	1955-69年	紙、木版	28×35.5	5682
41	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 演台に立つ田中代議士	1955-69年	紙、木版	38×54	5683
42	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 大挙上京請願を誓う	1955-69年	紙、木版	26×33.2	5684
43	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 川俣事件（その一）	1955-69年	紙、木版	29×35.8	5685
44	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 川俣事件（その二） （解題）	1955-69年	紙、水彩	47×58	5686
45	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 請願行動は有罪に	1955-69年	紙、木版	18×53	5687
46	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」直訴	1955-69年	紙、木版	42×88	5688
47	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 直訴（解題）	1955-69年	紙、水彩	47×67	5689
48	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 救済活動（その一）	1955-69年	紙、木版	28.5×36	5690
49	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 救済活動（その二）	1955-69年	紙、木版	28.8×36.2	5691
50	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 谷中村買収と家屋強制破壊	1955-69年	紙、木版	17×35.5	5692
51	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 谷中村買収と家屋強制破壊 （その二）	1970年頃	紙、木版	18×34.5	5693
52	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 足尾銅山坑夫の暴動	1955-69年	紙、木版	29.2×36.2	5694
53	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 足尾銅山	1970年頃	紙、木版	18.8×53.3	5695
54	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 仮小屋の抵抗	1970年頃	紙、木版	18.×34.5	5696
55	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 辛酸亦入佳境	1970年頃	紙、木版	29.×53	5697
56	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 渡良瀬遊水池に残る墳墓	1955-69年	紙、木版	21.×52	5698
57	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 不滅の余光（その一）	1955-69年	紙、木版	37.8.×53.8	5699
58	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 不滅の余光（その二）	1970年頃	紙、木版	37.8.×54	5700

59	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 不滅の余光（解題）	1955-69年	紙、水彩	51.×63	5701
60	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 憂国の義人 田中正造	1970年頃	紙、木版	14.7×11	5702
61	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 萱刈騒動（その一）	1970年頃	紙、木版	22.6×29.5	5703
62	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 萱刈騒動（その二）	1970年頃	紙、木版	37.5×53.5	5704
63	小口一郎	1914-1979年「野に叫ぶ人々」 萱刈騒動（解題）	1970年頃	紙、水彩	54×70	5705
64	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」表題	1971-73年	紙、木版	47×84.5	5706
65	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 制作にあたって	1971-73年	紙、水彩	41.5×71	5707
66	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 1. 治水か破水か	1971-73年	紙、木版	38.5×54	5708
67	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 2. 移住奸策	1971-73年	紙、木版	38×53	5709
68	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 3. 北海道移住	1971-73年	紙、木版	38×52	5710
69	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 4. 移住民の出発	1971-73年	紙、木版	36×51	5711
70	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 5. 膝を没する雪の中を	1971-73年	紙、木版	37×54	5712
71	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 6. 先住民の民家に分宿	1971-73年	紙、木版	38×53	5713
72	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 7. 峠を越えて	1971-73年	紙、木版	38×54	5714
73	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 8. 原生林に挑む	1971-73年	紙、木版	38.5×53	5715
74	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 9. 熊の棲家を人の住む土に	1971-73年	紙、木版	38×54	5716
75	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 10. 拝み小屋	1971-73年	紙、木版	35×51	5717
76	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 11. 熊の出没	1971-73年	紙、木版	38×53	5718
77	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 12. 馬鈴薯を植えたが	1971-73年	紙、木版	37×52	5719
78	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 13. 食糧	1971-73年	紙、木版	38×53	5720
79	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 14. 巨木の仕末	1971-73年	紙、木版	38×53	5721

80	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 15. 山火事	1971-73年	紙、木版	35×52	5722
81	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 16. 冷害	1971-73年	紙、木版	38×54	5723
82	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 17. 山路を喰う	1971-73年	紙、木版	37×52	5724
83	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 18. 栃木神社	1971-73年	紙、木版	38×53	5725
84	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 19. 栃木児童教授所	1971-73年	紙、木版	35×53	5726
85	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 20. 生活の知恵	1971-73年	紙、木版	38×51	5727
86	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 21. 雪中作業	1971-73年	紙、木版	38×54	5728
87	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 22. 八木節で故郷を偲ぶ	1971-73年	紙、木版	38×49	5729
88	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 23. 栃木歌舞伎	1971-73年	紙、木版	38×54	5730
89	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 24. 俺はだまされた	1971-73年	紙、木版	38×54	5731
90	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 25. 移住地の墓	1971-73年	紙、木版	38.5×54	5732
91	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 26. 廃家	1971-73年	紙、木版	38×53	5733
92	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 27. 若人は職を求めて	1971-73年	紙、木版	38×53	5734
93	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 28. 祭日の子供角力	1971-73年	紙、木版	38×53	5735
94	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 29. 二代目に引き継がれた 請願	1971-73年	紙、木版	38×53	5736
95	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 30. 三代目の窮地	1971-73年	紙、木版	38×52	5737
96	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 31. 住職も労働者に	1971-73年	紙、木版	38×53	5738
97	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 32. 請願の動き	1971-73年	紙、木版	38×53	5739
98	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 33. 老人会の送別	1971-73年	紙、木版	38×52	5740
99	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 34. 財産の処分	1971-73年	紙、木版	38×53	5741

100	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 35. 帰郷	1971-73年	紙、木版	38×53	5742
101	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 36. 鋤を捨てて労働者に	1971-73年	紙、木版	38×53	5743
102	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 37. 第三の居住地を求める	1971-73年	紙、木版	38×53	5744
103	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 38. 鋼鉄の爪跡	1971-73年	紙、木版	38×54	5745
104	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 39. 谷中遊水池の変貌	1971-73年	紙、木版	38×53	5746
105	小口一郎	1914-1979年「鉋毒に追われて」 40. 老婆のはなし	1971-73年	紙、木版	38×53	5747
106	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」表題	1974-75年	紙、木版	29.5×43.5	5748
107	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」解題	1974-75年	紙、水彩	29.5×43.5	5749
108	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 1. 渡良瀬川をさかのぼる	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5750
109	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 2. 死の川	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5751
110	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 3. 地獄の山	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5752
111	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 4. 足尾銅山	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5753
112	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 5. 銅山の歴史	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5754
113	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 6. 富国強兵	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5755
114	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 7. 徳川時代のしくみ	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5756
115	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 8. 禁足令と落職	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5757
116	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 9. 政、財界とのつながり	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5758
117	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 10. 銅山買収当時の足尾	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5759
118	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 11. 囚人を使う	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5760
119	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 12. 女衆坑内労働	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5761
120	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 13. 坑夫の募集	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5762

121	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 14. 鉋脈の発見（直利）	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5763
122	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 15. 明治の中期	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5764
123	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 16. 波にのる古河	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5765
124	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 17. 鉄索の架設	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5766
125	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 18. 永岡鶴蔵の決意 （永岡、片山、南）	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5767
126	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 19. 足尾に入った永岡	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5768
127	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 20. 至誠会の動き	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5769
128	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 21. 職場の要求をかかげて	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5770
129	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 22. ラッパ節にみる足尾の 窮状	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5771
130	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 23. 鉋毒事件	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5772
131	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 24. 鉋毒予防工事	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5773
132	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 25. 暴動争議	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5774
133	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 26. 軍隊による鎮圧	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5775
134	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 27. 足尾を追われた幹部たち	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5776
135	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 28. のしあがる財閥	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5777
136	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 29. ロシヤ革命と米騒動	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5778
137	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 30. 軍需産業と景気	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5779
138	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 31. 山神祭	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5780
139	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 32. 模範工員	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5781

140	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 33. 社長の巡視	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5782
141	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 34. 全国にひろがる労働争議	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5783
142	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 35. 足尾最初のメーデー	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5784
143	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 36. 解雇状に挑む	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5785
144	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 37. 戦争と労働者	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5786
145	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 38. 園遊会で労資和合	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5787
146	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 39. 職場の動き	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5788
147	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 40. 戦時中の足尾	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5789
148	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 41. 外人労働者の就労	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5790
149	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 42. 外人強制労働	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5791
150	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 43. 終戦	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5792
151	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 44. 労働者は民族のちがいを越えて	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5793
152	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 45. 立場を越え愛の交流	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5794
153	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 46. 組合結成に火の手あがる	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5795
154	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 47. 食糧危機突破！県民大会	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5796
155	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 48. 再び盛り上ったメーデー	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5797
156	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 49. 朝鮮動乱前夜	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5798

157	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 50. レッドパーズの蔭に	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5799
158	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 51. 安保闘争	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5800
159	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 52. 合理化のあとに生死の 事故が	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5801
160	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 53. 勇退勧告	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5802
161	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 54. 町のうわさ	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5803
162	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 55. 政党支持の自由を	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5804
163	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 56. 原水禁大会で訴える	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5805
164	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 57. 切りくずし あの手 この手	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5806
165	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 58. 闘争164日目	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5807
166	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 59. 闘いの輪をひろげて	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5808
167	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 60. 仲間に訴える“ガンバロ ウ”機関紙	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5809
168	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 61. プール制を組んで家族 ぐるみの闘争へ	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5810
169	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 62. 銅山検証に厳戒令をだ す会社	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5811
170	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 63. 二年振りに入坑した同 盟たち（不当解雇反対同盟）	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5812
171	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 64. 全国からのはげましに	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5813
172	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 65. クルーシステム	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5814
173	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 66. 家族そろってピクニック	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5815

174	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 67. 裁判闘争報告会	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5816
175	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 68. 勝利を更に不動のものに	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5817
176	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 69. さらに闘争を練る	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5818
177	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 70. 裏切り者の委員長	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5819
178	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 71. 町政への横暴許さず	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5820
179	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 72. 墓穴を掘った証人	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5821
180	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 73. 地方選挙の勝利	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5822
181	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 74. 合理化は何をもたらすか	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5823
182	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 75. 閉山問題	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5824
183	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 76. 勝ったぞ！連帯の力	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5825
184	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 77. よろけ病（銅山病）	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5826
185	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 78. 人影のない長屋	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5827
186	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 79. あとは野となれ	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5828
187	小口一郎	1914-1979年「盤圧に耐えて」 80. 閉山といえど	1974-75年	紙、木版	27.5×36.5	5829
188	内間俊子	1918-2000年 おとづれ	1956年	紙、木版	48.2×30.5	5830

保管転換

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技	寸法	登録番号
1	棟方志功	1903-1975	瑞鳥巢営図	1956年	紙本着色	69.8×34	5831

日本画

■美術資料貸出状況

No.	作者名	作品名	展覧会名	貸出先	会期
1	朝倉摂	背負う人々	生誕100年 朝倉摂展	神奈川県立近代美術館 葉山	2022/4/16 ~ 2022/6/12
2	朝倉摂	担ぐ人々	〃	〃	〃
3	朝倉摂	背負う人々	〃	〃	〃
4	朝倉摂	担ぐ人々	〃	〃	〃
5	清水登之	C嬢の肖像	シアトル→パリ 田中保とその時代	埼玉県立近代美術館	2022/7/16 ~ 2022/10/2
6	清水登之	セーヌ河畔	〃	〃	〃
7	清水登之	主婦と下男	〃	〃	〃
8	清水登之	田中保像	〃	〃	〃
9	清水登之	パイプをくわえる男	〃	〃	〃
10	清水登之	裸婦A	〃	〃	〃
11	清水登之	裸婦B	〃	〃	〃
12	清水登之	裸婦C	〃	〃	〃
13	田中保	木立の中の赤い屋根	〃	〃	〃
14	青木繁	わだつみのいろこの宮 下絵	生誕140年 ふたつの旅 青木繁×坂本繁二郎	石橋財団アーティゾン美術館	2022/7/30 ~ 2022/10/16
15	青木繁	幸彦像	〃	〃	〃
16	朝倉摂	背負う人々	生誕100年 朝倉摂展	福島県立美術館	2022/9/3 ~ 2022/10/16
17	朝倉摂	担ぐ人々	〃	〃	〃
18	川上澄生	黒き猫	開館30周年・川上澄生没後50年記念特別企画展 川上澄生の全貌	鹿沼市立川上澄生美術館	2022/9/10 ~ 2023/3/26
19	川上澄生	教会	〃	〃	〃
20	川上澄生	春の鳥 『主婦之友』3月号表紙案	〃	〃	〃
21	川上澄生	星月夜 『主婦之友』9月号表紙案	〃	〃	〃
22	川上澄生	CHATEAU EN ESPAGNE 他	〃	〃	〃
23	川上澄生	自画像	〃	〃	〃
24	川上澄生	如月の女	〃	〃	〃

25	ギル, エリック	『雅歌』	理想の書物—英国19世紀挿絵本からプライヴェート・プレスの世界へ—	群馬県立近代美術館	2022/9/17 ~ 2022/11/13
26	グリーナウェイ, ケイト	『窓の下で』	〃	〃	〃
27	グリーナウェイ, ケイト	『子どもの一日』	〃	〃	〃
28	グリーナウェイ, ケイト	『ハーメルンの笛吹き』	〃	〃	〃
29	クレイン, ウォルター	『フローラの饗宴』	〃	〃	〃
30	クレイン, ウォルター	『パン・パイプ』	〃	〃	〃
31	クレイン, ウォルター	『クイーン・サマーあるいは百合と薔薇の騎馬試合』	〃	〃	〃
32	クレイン, ウォルター	『小豚の絵本』 (ウォルター・クレインの絵本第1巻) 「この小さい豚」、「妖精の船」、「ラッキー・ボーイ王」	〃	〃	〃
33	クレイン, ウォルター	『ハバードお婆さんの絵本』 (ウォルター・クレインの絵本第2巻) 「ハバードお婆さん」、「3匹の熊」、「おかしなABC」	〃	〃	〃
34	ターナー, ウィリアム／ 他ストザート	S.ロジャーズ 『イタリア』	〃	〃	〃
35	ドイル, リチャード	W.アリンガム 『妖精の国にて』	〃	〃	〃
36	ドイル, リチャード	「ブラウン、ジョーンズ、ロビンソン氏の外国旅行」	〃	〃	〃

37	ニコルソン, ウィリアム	『アルファベット』	//	//	//	//
38	ニコルソン, ウィリアム	『ロンドン・タ イプス』	//	//	//	//
39	ビーズリー, オブリー	トーマス・マロ	//	//	//	//
40	ビーズリー, オブリー	トーマス・マロ リー『アーサー 王の死』2巻	//	//	//	//
41	フーズリー, ヘンリー	エラスムス・ ダーウィン『植 物園』	//	//	//	//
42	ブレイク, ウィリアム	R.ブレア『墓』	//	//	//	//
43	ブレイク, ウィリアム	エドワード・ヤ ング『夜想』	//	//	//	//
44	リア, エドワード	『ナンセンスの 絵本』	//	//	//	//
45	荒井寛方	龍虎図	開館25周年記念 華巖 社一下野の画人たち	小杉放菴記念 2022/9/17 ~ 2022/11/20 日光美術館		
46	小堀鞆音	佐野了伯聴平語	//	//	//	//
47	小堀鞆音	廃藩置県(下図)	//	//	//	//
48	小堀鞆音	田原藤太秀郷像	//	//	//	//
49	松本姿水	彩秋	//	//	//	//
50	石川寒巖	踏断流水	//	//	//	//
51	石川寒巖	松石不老図	//	//	//	//
52	石川寒巖	寒山拾得	//	//	//	//
53	大貫徹心	田園風景	//	//	//	//
54	大貫徹心	霧降の滝	//	//	//	//
55	大山魯牛	暮靄	//	//	//	//
56	大山魯牛	山中書屋	//	//	//	//
57	小杉放菴	婦人立像	小杉放菴と茨城の画家 たち展	公益財団法人 2022/10/5 ~ 2022/11/27 常陽藝文セン ター		
58	小杉放菴	アルハンブラの 丘	//	//	//	//
59	小杉放菴	ブルターニュの 村の八月	//	//	//	//
60	青木繁	わだつみのいろ この宮 下絵	生誕140年 ふたつの旅 青木繁×坂本繁二郎	久留米市美術 2022/10/29 ~ 2023/1/22 館		
61	青木繁	幸彦像	//	//	//	//
62	川島理一郎	男	川島理一郎展	足利市立美術 2022/10/29 ~ 2022/12/25 館		
63	川島理一郎	裸婦	//	//	//	//
64	川島理一郎	裸婦デッサン	//	//	//	//

65	川島理一郎	絵日記	//	//	//	//
66	川島理一郎	スペイン風景	//	//	//	//
67	川島理一郎	コルシカの雨	//	//	//	//
68	川島理一郎	リュクサンブール公園	//	//	//	//
69	川島理一郎	セーヌ河の景 (ボンヌフ)	//	//	//	//
70	川島理一郎	第7回国展ポスター	//	//	//	//
71	川島理一郎	瀑布	//	//	//	//
72	川島理一郎	夜叉門	//	//	//	//
73	川島理一郎	施米	//	//	//	//
74	川島理一郎	印度寺の門	//	//	//	//
75	川島理一郎	金とモザイクの 回廊	//	//	//	//
76	川島理一郎	マンチリアを被 る女	//	//	//	//
77	川島理一郎	サンクルーの新 緑	//	//	//	//
78	川島理一郎	蘭花図	//	//	//	//
79	川島理一郎	舞妓	//	//	//	//
80	川島理一郎	風	//	//	//	//
81	川島理一郎	熱帯の雨	//	//	//	//
82	川島理一郎	雨と風の詩	//	//	//	//
83	川島理一郎	蘭花幻想	//	//	//	//
84	川島理一郎	浮世絵の誘惑	//	//	//	//
85		ギャラリーヴィ ルドラック目録	//	//	//	//
86	岡上淑子	水族館	特別展 藤野一友と 岡上淑子	福岡市美術館	2022/11/1 ~ 2023/1/9	
87	岡上淑子	戦士	//	//	//	//
88	岡上淑子	気まぐれ	//	//	//	//
89	岡上淑子	美学	//	//	//	//
90	岡上淑子	記憶への道	//	//	//	//
91	岡上淑子	眠り	//	//	//	//
92	岡上淑子	イブ	//	//	//	//
93	岡上淑子	寝室	//	//	//	//
94	岡上淑子	少女	//	//	//	//
95	岡上淑子	女	//	//	//	//
96	高橋由一	驟雨図	記録する眼 豊穰の時 代 明治の画家 亀井至 一、竹二郎兄弟をめぐ る人々	郡山市立美術 館	2022/11/3 ~ 2023/1/9	

97	小室翠雲	墮金釵図	南画×近代 大正～昭和初期を中心として	富山県水墨美術館	2022/11/18 ~ 2023/1/15
98	小室翠雲	瑞西所見	//	//	//
99	小杉放菴	長夏深柳	//	//	//
100	石川寒巖	雪景	//	//	//
101	石川寒巖	漁舟（白鷺図）	//	//	//
102	瑛九	手品師	抽象画のひみつ ～イメージの冒険～	久保記念観光文化交流館 美術品展示館	2022/12/15 ~ 2023/2/13
103	瑛九	窓	//	//	//
104	瑛九	黄と白と青の編目	//	//	//
105	尹 錫男 (ヨン・ソクナム)	Lotus	ケアリング／マザー フッド	水戸芸術館現代美術センター	2023/2/18 ~ 2023/5/7
106	川上澄生	池辺の館物	宇都宮美術館開館25周年 二つの教会をめぐ る石の物語	宇都宮美術館	2023/2/19 ~ 2023/4/16
107	内田進久	教会	//	//	//
108	内田進久	残照	//	//	//
109	モネ, クロード	サン＝タドレス の海岸	レオン・モネー画家の 兄でありコレクター	リュクサンブール美術館	2023/3/15 ~ 2023/7/16
110	クレイン, ウォルター	『フローラの饗宴』	自然という書物ー15～ 19世紀のナチュラルヒ ストリー＆アートー	町田市立国際版画美術館	2023/3/18 ~ 2023/5/21
111	フュズリ, ヘンリー	エラスムス・ ダーウィン『植 物園』	//	//	//
112	フュズリ, ヘンリー	エラスムス・ ダーウィン『植 物園』	//	//	//
113	ホー, ヴェンツェル	『四季（四分の 三半身の女性 像）』より	//	//	//
114	ホー, ヴェンツェル	蛾、蝶、昆虫	//	//	//
115	ミュンヤ, アルフォンス	主の祈り	//	//	//
116	小杉放菴	ブルターニュの 村の八月	「憧憬の地」ブルター ニュ	国立西洋美術館、TBSテレビ	2023/3/18 ~ 2023/6/11

■学芸員研究業績等

橋本慎司(技幹兼学芸課長)

- パネルディスカッション 「伝説の雪村屋敷を求めて」、2022年4月3日(日)、常陸大宮市文化センター・ロゼホール、雪村顕彰会総会
- 解説記事 「印象派との出会い——フランス絵画の100年 ひろしま美術館コレクション 県立美術館学芸員解説① クロード・モネ「セーヌ河の朝」」『下野新聞』2022年11月19日
- 解説記事 「印象派との出会い——フランス絵画の100年 ひろしま美術館コレクション 県立美術館学芸員解説⑤ オディロン・ルドン「青い花瓶の花」」『下野新聞』2022年12月17日
- 講演 「謎多き御用絵師 周文」(特別企画展「隠逸の山水」特別講演)2023年3月12日(日)、大和文華館
- 寄稿 「第3章 雪村周継」『常陸大宮市史 資料編2 古代・中世』、常陸大宮市、2023年3月20日、pp497-535.

木村理恵子(特別研究員)

- 編集 『「二つの栃木」の架け橋 小ロー展 足尾鉍毒事件を描く』図録、栃木県立美術館、2023年1月
- 論文 「創造への旅路—小ロー展の生涯と芸術」『「二つの栃木」の架け橋 小ロー展 足尾鉍毒事件を描く』図録、栃木県立美術館、2023年1月、8-19頁
- エッセイ 「知られざる画家の全貌と鉍毒事件 小ロー展」『新美術新聞』2023年2月1日
- エッセイ 「小ロー展① 初連作 反響大きく弾みに」『下野新聞』2023年2月4日
- エッセイ 「小ロー展② 社会運動と創作が一体」『下野新聞』2023年2月11日
- エッセイ 「小ロー展③ 銅山労働者の過酷さ表現」『下野新聞』2023年2月18日
- エッセイ 「小ロー展④ 知られざる魅力の数々」『下野新聞』2023年2月25日
- エッセイ 「人びとのための創作活動貫く 小ロー展」『しんぶん赤旗』2023年2月17日
- エッセイ 「『二つの栃木』の架け橋 小ロー展 足尾鉍毒事件を描く」を企画して」『美術運動』No.150、2023年3月22日、32-34頁
- 研究助成 科学研究費補助金[基盤研究(C)]「内間安理・俊子と戦後の日米美術交流に関する研究」研究代表者:木村理恵子、令和元-4年度

鈴木さとみ(主任研究員)

- 編集 『題名のない展覧会—栃木県立美術館50年のキセキ』ブックレット、栃木県立美術館、2022年4月
- 解説記事 「県立美術館50年のキセキ 学芸員見どころ解説① 工芸」『下野新聞』2022年5月12日
- 審査員 「令和4年度栃木県伝統工芸品審査会」、2022年6月30日
- 鑑審査員 「第69回日本伝統工芸展」木竹工部門第一次鑑査委員、2022年8月2日
- 審査委員 「第25回全国竹芸展」審査委員、2022年9月26日
- 鑑審査員 「第63回東日本伝統工芸展」木竹工部門第一次鑑査委員、第二次鑑査・審査委員、2023年3月3日
- 講評 「最優秀賞(文部科学大臣賞) 吉澤克己《高杯型網代編盛籃》」『第25回全国竹芸展』図録、全国竹芸展実行委員会、2022年11月
- 寄稿 「勝城蒼鳳さんを悼む」『下野新聞』2023年2月11日

講座	「那須地域が誇る竹工芸家たち」(令和4年度那須文化セミナー「那須と美術—地域がはぐくんだ美の系譜」)、那須野が原博物館、2022年7月2日
講座	「栃木の竹工芸—飯塚琅玕齋と人間国宝を中心に」、栃木県シルバー大学校南校、2022年8月26日
講座	「栃木の竹工芸—飯塚琅玕齋と人間国宝を中心に」、栃木県シルバー大学校中央校、2022年9月7日
研究助成	科学研究費補助金[若手研究(B)]「近代竹工芸の調査研究—飯塚琅玕齋を中心に」研究代表者:鈴木さとみ、平成30—令和4年度

山本和弘(主任研究員)

エッセイ	「アートの手 柴田敏雄《栃木県黒磯市(「日本典型」より)》『毎日新聞』2022年7月4日(夕)
エッセイ	「アートの手 山中信夫《マンハッタンの太陽(1)》『毎日新聞』2022年8月1日(夕)
エッセイ	「アートの手 クラウス・ダオフェン《HANAZAKARI2》『毎日新聞』2022年8月22日(夕)
エッセイ	「アートの手 オノデラ ユキ《古着のポートレートNo.》『毎日新聞』2022年9月12日(夕)
論文	像の定着によって得られるものと失われるもの—J.N.ニエプス(1765-1833年)と山中信夫(1948-1982年)を参照点にして『写真批評 復刊第1号』(東京総合写真専門学校出版局、2023年2月20日)pp.46-45

志田康宏(主任)

講座	小山市立中央公民館教養大学講座「菊川京三と栃木ゆかりの美術① アートリンク2022 野澤一郎が愛した美術 解説」、2022年5月21日
講座	小山市立中央公民館教養大学講座「菊川京三と栃木ゆかりの美術② とちぎの「日本絵画」史」、2022年6月4日
講座	小山市立中央公民館教養大学講座「菊川京三と栃木ゆかりの美術③ 菊川京三の仕事」、2022年6月18日
講座	栃木県シルバー大学校北校「とちぎの「日本絵画」史」、2022年9月6日
講座	栃木県シルバー大学校中央校「とちぎの「日本絵画」史」、2022年9月8日
講座	氏家喜連川歴史文化研究会歴史講座「新資料でたどる荒井寛方の生涯」「仏画とは? ①仏教史と尊格分類」、2023年1月14日
エッセイ	「インドと寛方(資料編)』『氏家喜連川 歴史と文化』第21号、氏家喜連川歴史文化研究会、2022年5月31日
編集	『題名のない展覧会—栃木県立美術館50年のキセキ』ブックレット、栃木県立美術館、2022年4月
解説記事	「県立美術館50年のキセキ 学芸員見どころ解説② 日本画と洋画」下野新聞、2022年5月19日
列品解説	「ギャラリートーク」、アートリンクとちぎ2022『野澤一郎が愛した美術』展(小山市立車屋美術館)関連イベント、2022年5月15日
列品解説	「ふたりの歴史画関連講座」、アートリンクとちぎ2022『小堀鞆音と羽石光志—師弟、ふたりの歴史画—』展(ふみの森もてぎ)関連イベント、2022年11月12日

大城茉里恵(研究員)

- 編集 『題名のない展覧会—栃木県立美術館50年のキセキ』ブックレット、栃木県立美術館、2022年4月
- 編集 『川島理一郎展』図録、栃木県立美術館、足利市立美術館、2022年10月
- 論文 「川島理一郎の眼がとらえたもの——大林組コレクションを中心に」『川島理一郎展』図録、栃木県立美術館、足利市立美術館、2022年10月、pp. 18-25
- 解説記事 エッセイ「県立美術館50年のキセキ 学芸員見どころ解説③ 知られざる西洋の挿絵本」『下野新聞』2022年5月26日

武関彩瑛(研究員)

- 編集 『題名のない展覧会—栃木県立美術館50年のキセキ』ブックレット、栃木県立美術館、2022年4月
- 編集 『印象派との出会い—ひろしま美術館コレクション』図録、栃木県立美術館、熊本県立美術館、2022年4月
- 論文 「1910-20年代パリの日本人画家——栃木県立美術館所蔵品を中心に」『印象派との出会い—ひろしま美術館コレクション』図録、栃木県立美術館、熊本県立美術館、2022年4月、pp. 154-159
- 解説記事 「県立美術館50年のキセキ 学芸員見どころ解説④ 洋画」『下野新聞』2022年6月2日
- 解説記事 「印象派との出会い——フランス絵画の100年 ひろしま美術館コレクション 県立美術館学芸員解説② ピエール＝オーギュスト・ルノワール「パリスの審判」」『下野新聞』2022年11月26日
- 解説記事 「印象派との出会い——フランス絵画の100年 ひろしま美術館コレクション 県立美術館学芸員解説③ セザンヌ「曲がった木」シニャック「パリ、ボン＝ヌフ」」『下野新聞』2022年12月3日
- 解説記事 「印象派との出会い——フランス絵画の100年 ひろしま美術館コレクション 県立美術館学芸員解説④ 黒田清輝「白き着物を着せる西洋婦人」」『下野新聞』2022年12月10日

■名簿(令和5年3月31日現在)

学校教育関係者

委員	高島 利佳子	栃木県小学校教育研究会図画工作部会長(宇都宮市立豊郷中央小学校校長)
副会長	佐藤 香	栃木県中学校教育研究会美術部会長(小山市立豊田中学校校長)

社会教育関係者

委員	大野 斉子	宇都宮大学国際学部准教授
----	-------	--------------

家庭教育関係者

委員	伊吹 桂子	家庭教育オピニオンリーダー連合会顧問
----	-------	--------------------

学識経験者

委員	有坂 隆二	インスタレーション作家
会長	岸本 卓也	(株)下野新聞社代表取締役会長
委員	齋藤 千明	白鷗大学教育学部准教授
委員	佐々木 吉晴	宇都宮美術館館長
委員	清水 和幸	(株)足利銀行取締役頭取
委員	杉村 浩哉	栃木市立美術館館長
委員	野澤 和一	栃木県議会議員

(分野別50音順)

職員

